

# Offshore 5 1984

誌 日本外洋帆走協会発行No.110/300円

昭和59年5月15日発行（毎月1回15日発行）昭和52年7月21日第三種郵便物認可



クリッパーカップ東日本代表選抜レース3位の「ZERO」  
撮影：大野晴一郎／提供：オーシャンライブ

## 船舶振興会補助事業

# '84 パンナム クリッパーカップ 予選

今年8月4日より8月19日までハワイ諸島を舞台として行われる'84パイナムクリッパーカップの国内予選が、西と東に分けて3月下旬より4月下旬まで行われました。

ここで、本誌1月号より4月号まで毎回誌面にて報告してきました内容を振り返ってみたいと思います。

## 1月号 予選要領

ナショナルチーム選抜の予選を下記の要領で行います。

### 1. チーム

2チーム(6艇)……Eチーム, Wチーム(仮称)

Eチーム: 東海, 駿河湾, 関東, 北海道支部所属艇を対象

Wチーム: 内海, 西内海, 近畿北陸, 玄海, 沖縄支部所属艇を対象

ただし, Eチーム・Wチームとも補欠艇を各1艇選抜する。

### 2. 日時

4/初~4/末 (詳細は本誌2月号に発表)

※週末を3回利用する予定

### 3. レースの内容

オリンピックコース: 2レース

オフショアコース: 2レース

(詳細は本誌2月号に発表)

### 4. 参加の条件

参加艇はレース運営のため2名以上の運営担当者を出すこと。

### 5. 乗員に対する条件

艇長およびその他の乗員の過半数はクリッパーカップシリーズに参加する本人でなければならない。また、オリンピックコースレースのヘルムスマンについてはクリッパーカップシリーズに乗艇する者とする。

なお、乗員はすべて、Eチーム, Wチームの選抜予選に両方参加することは認められない。

### 6. ダブルメジャーメントについて

ORCより、1984年度以後の国際レース参加艇についてはダブルメジャーメント(2名の計測員にて2回の計測を行う)が、義務づけられた。従って、できる限り今回の予選前にダブルメジャーメントを実施する

こと。

### 7. その他

実施要項については、本誌2月号, 3月号に掲載する。

## 2月号 レース変更

本年度夏にハワイ水域で行われるクリッパーカップシリーズの日本ナショナルチームは、国際委員会、理事会の承認を得て、1チーム(3艇)とし、3月下旬に相模湾においてナショナルチーム艇の選抜のための予戦を行うことになっておりました。

しかし、その後、同レース参加予定の艇などからの意見、実情を聴取したところ、関東水域外の艇が、この予戦に参加するのは困難とする艇が多いことがわかりました。

その最も大きな理由は、クルーの予戦レースに参加するための時間を作ることが大変難しいことで、クリッパーカップに参加するのに要する2~3週間の休暇を取るのがせいっぱいで、それ以前に回航およびレース参加のための休みをとることは、日本の社会通念からみてもまず無理であること。そして、予戦に参加する費用がバカにならず、特に遠隔地からの参加は、かなり大きいものになる。

これらの理由から、やむなく予戦レースの参加はあきらめ、クリッパーカップレースには、インディヴィジュアルでエントリーする艇も少なからず見込まれる、というのが実情です。

そうすると、予戦レースによって選抜された艇が、実力の上で真の日本代表艇といえるかにも疑問が生じ、予戦レースが無意味なものになってしまいます。

そこで、この件を、昨年12月初旬に行われた全国合同帆走委員会において、国際委員である大儀見、清水、両氏もまじえて討議の結果、やむをえず、本年度は、紀伊半島を境に東西に分けて予戦を行い、東(E)チーム, 西(W)チームの2チーム(6艇)をナショナルチームとして選抜することとした次第です。

これらの問題はクリッパーカップレースだけでなく、アドミラルズカップその他の国際レースの代表艇選抜にもいえることで、今後の問題として再度協議を重ね、日本の国情にできるだけ適合する形で、予戦レースの方法を模索していきたいと考えます。

### '84クリッパーカップシリーズ日本代表選抜 レース日程

#### 〔東日本〕

日	程	4月14日～15日	ショートオフショア (約100マイル)
		21日	オリンピックコース
		22日	オリンピックコース
		28日～30日	ロングオフショア (約200マイル)

申込締切日 昭和59年3月30日(金)

#### 〔西日本〕

日	程	3月30日～4月1日	ロングオフショア (約240マイル)
		4月7日～8日	トライアングル (2レース)
		4月14日～15日	ショートオフショア (約100マイル)

### 3月号 日程変更

- クリッパーカップ東日本選抜レースの日程が変わりました。4月7日(土)、8日(日)：ショートオフショアレース。4月14日(土)、15日(日)：オリンピックコース各1回。4月20日(金)、22日(日)：ロングオフショアレース。以上に変更します。申込締切日は3月23日(金)、艇長会議が4月6日(金)NORC本部1830です。エントリーフィーは1艇90,000円。乗員の参加料はあり

ません。なお本レースに限り、運営サイドの要員として、参加各艇あたり2名の確保をお願いします。ご協力下さい。

### 4月号 NOTICE OF RACE 一部変更

I. ORC 報告でも報じられた如く、本年から IOR のレースにはクルーの制限が設定されるようになりました。

IOR 109.8

$$\text{Crew Limit} = \text{INT}(.4 \times R/C + .02) - 2$$

クリッパーカップの出場条件は上記109.8項は下記のように修正して適用されることになったとの通知が入りました。

$$\text{Crew Limit} = \text{INT}(.4 \times R/C + 0.2)$$

feet の場合 C=1.0,

meter の場合 C=0.3048

つまり、IOR の規定より各艇2名余分に乗艇できることになったわけです。

II. KEVLAR の使用制限について特例を設けることが検討されていましたが、これについては IOR 通り適用する。つまり MAXI を除いてオーバーラップしないジブ (J=1.1以下) ならびメンスルの補強用に限定されることとなります。

以上のような経緯の後、東西に分けた選抜レースが行われました。



東日本選抜レース総合1位の〈慎記郎〉

## 記号の簡単な解釈

## PANAMクリッパーカップ予選出場艇諸元表

艇名	ZERO	ROCINANTE	摩利支天	SUPER SUNBIRD	麻里絵	CAZA 7	SAKI VI	KARASU	MIMI	ASAMA	慎記 郎
セーラー No	3070	3210	2872	3031	3150	1777	2800	3220	3135	3295	2220
オーナー名	津村重孝	大口真司	武田勝彦	山崎達光	吉田信明	深見裕二	多胡康敬	斜森保雄	金井準一	高橋高見	蝶野春太郎
タイプ	FRE52	TAK 46	TAK 44	YAM 41	VAN 41	TAK 41	YOK 39	TAK 40	TAK 39	YAM 38	CAS 37
LOA	15.757	14.023	13.765	12.515	12.327	12.587	11.999	12.311	11.812	11.506	11.460
LBG	12.929	11.623	11.371	10.357	10.124	10.420	9.922	10.243	9.926	9.429	9.528
BMAX	4.550	4.218	4.125	4.136	3.911	3.801	3.983	4.027	3.900	3.604	3.790
B	4.438	3.941	4.094	3.877	3.772	3.710	3.785	3.668	3.543	3.465	3.452
BWL	3.883	3.329	3.461	3.101	3.199	3.311	2.988	3.035	2.982	3.021	2.860
BF	0.750	0.634	0.624	0.582	0.677	0.604	0.567	0.569	0.432	0.597	0.572
BA	2.789	2.880	3.295	2.740	2.858	2.405	2.664	2.668	2.804	2.495	2.542
GD	0.582	0.828	1.266	0.860	1.001	0.634	0.826	0.794	0.736	0.875	0.846
DM	2.848	2.450	2.555	2.249	2.302	2.325	2.201	2.206	2.138	2.128	2.000
FF	1.396	1.285	1.340	1.208	1.215	1.173	1.184	1.149	1.145	1.122	1.142
FA	1.198	1.094	1.186	1.179	1.052	1.055	1.100	1.072	0.962	1.039	1.121
VHAI	1.240	1.012	1.262	1.137	1.139	1.008	1.032	0.951	0.859	1.006	1.090
VHA	1.100	0.875	1.030	0.981	0.974	0.868	0.897	0.815	0.725	0.891	0.960
CMDI	0.764	0.531	0.563	0.514	0.588	0.579	0.490	0.496	0.472	0.507	0.457
FDI	0.547	0.401	0.410	0.395	0.438	0.450	0.371	0.405	0.350	0.348	0.331
I	21.177	16.232	15.789	14.265	14.431	16.327	13.624	14.043	13.191	13.203	12.668
J	6.157	4.910	4.762	4.200	4.374	4.896	4.075	4.000	4.008	4.008	3.760
P	18.840	15.940	17.710	16.228	15.092	14.378	15.290	15.570	14.520	14.193	13.868
E	5.526	5.510	5.687	5.868	5.620	4.318	5.588	5.762	5.372	4.900	5.578
DISPL	14114	7594	8688	5821	6804	7441	5094	5763	4981	5269	4496
L	13.2832	11.7473	11.8180	10.4855	10.6823	10.4975	10.0929	10.2416	9.8708	9.7168	9.4627
D	1.7049	1.3349	1.3998	1.1960	1.3583	1.3842	1.1417	1.2204	1.1503	1.1866	1.1174
CGF	0.9772	0.9680	0.9680	0.9698	0.9680	0.9680	0.9722	0.9703	0.9715	0.9790	0.9686
EPF	0.9642	0.9738	0.9716	0.9740	0.9761	0.9760	0.9734	0.9699	0.9772	0.9764	0.9659
SC	12.0554	9.7242	9.9575	9.0024	8.9367	9.3046	8.6248	8.7116	8.3114	8.1858	7.9842
DLF	1.0000	1.0178	1.0070	1.0139	1.0054	1.0001	1.0169	1.0091	1.0129	1.0050	1.0114
MR	13.3601	11.5768	11.4577	10.2637	10.0136	9.9829	9.8642	9.8825	9.5425	9.2199	9.0340
R	12.5393	10.9122	10.7761	9.6951	9.4615	9.4318	9.3355	9.3003	9.0590	8.8129	8.4524
Rfeet	41.4	35.8	35.4	31.8	31.0	30.9	30.6	30.5	29.7	28.8	27.7
建造年月日	1982	1983	1981	1982	1982	1983	1983	1983	1982	1983	1981
建造所	オフショア	ワールド7	ノーテック	ヤマハ	チタ	チタ	ツボイ	ワールド7	フジ	ヤマハ	ヤマハ

単位(M・K・G)

LOA:全長  
LBG:水線長となりうる長さBMAX:最大幅  
B:レーティング上の幅

1/2BMAX下からたところ

BWL:水線幅

BF:LBG前部の幅

BA:LBG後部の幅

GD:スターン部のポリウレタンを

表わす

DM:水線よりキール下端までの

深さ

FF:LBG前部の高さ(フ

リーボード)

FA:LBG後部の高さ

VHAIとVHA:後部の傾斜を表

わす

CMDI:中央近くの水線よりのハル

の深さ

FDI:前方の水線よりのハルの深

さ

I:ジブセーラーを上げられるマス

トの高さ

J:フォアステイ中心(デッキと

の交点)よりマスト前面まで

の水平距離

P:メインセーラーを上げられるマ

ストの長さ

E:メインセーラーのフットの最大

長さ

DISPL:計測上(IOR)の排水量

CGF:船の軽さの強さ ロアリー

ミットが0.9680でこれ以

下はない

EPF:エンジンとプロペラのボ

ーナス ロアリーミット

は0.9600

SC:レーティング上のセールエ

リア

DLF:排水量と長さの比 軽く

水線長となりうる長さが

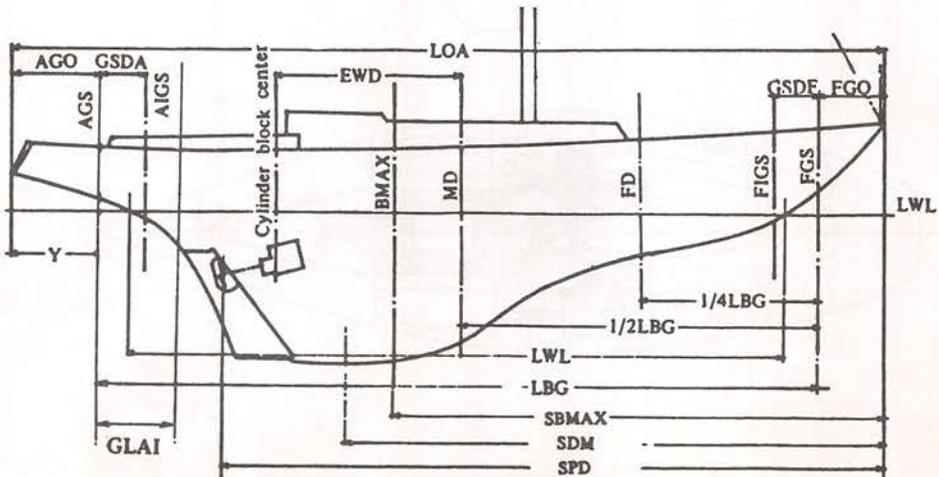
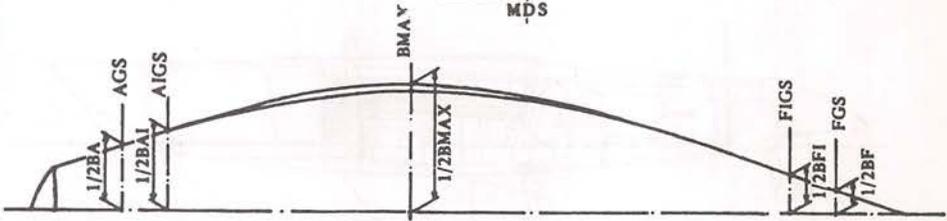
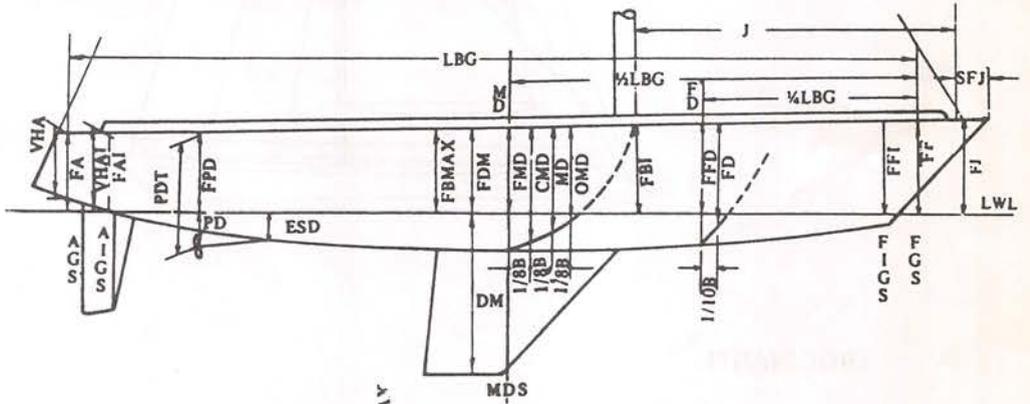
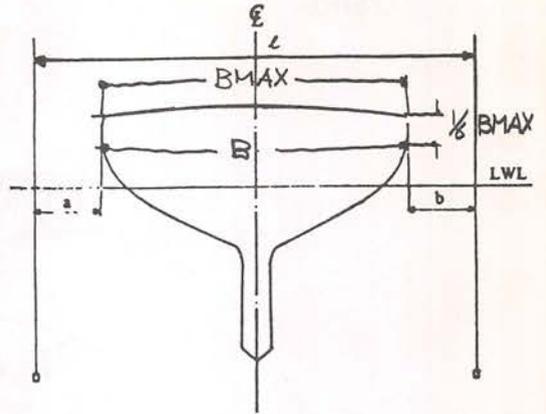
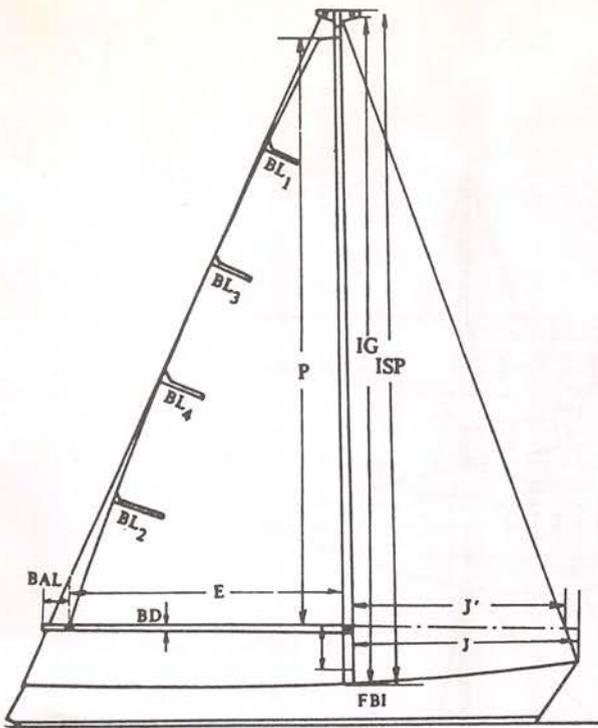
長いと1.00(ローアリー

ミット)を超えてレーティ

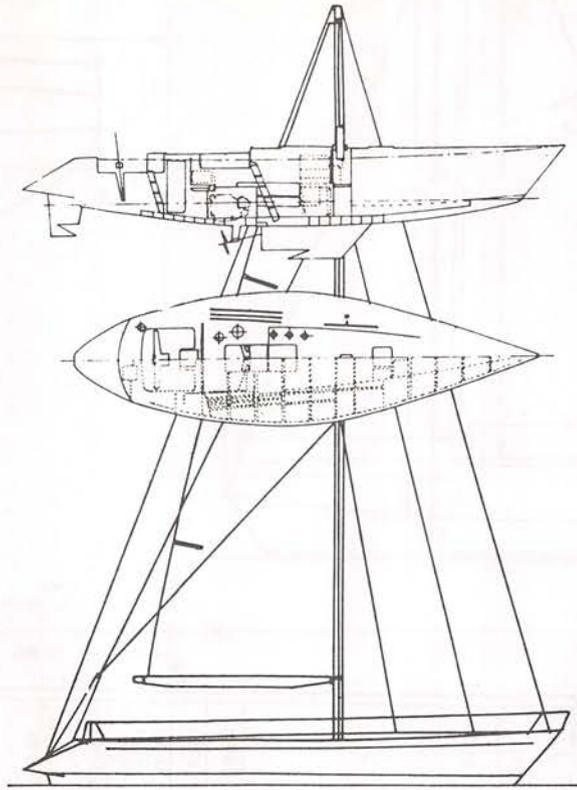
ングが上がる

R:レーティング×3.281でR

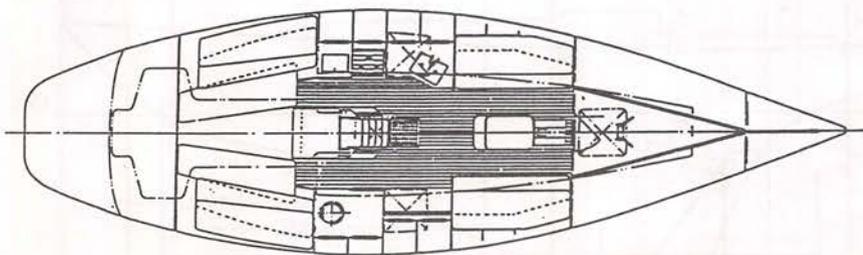
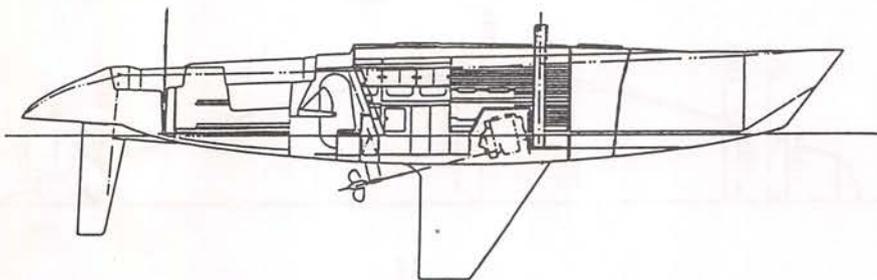
feetが出る



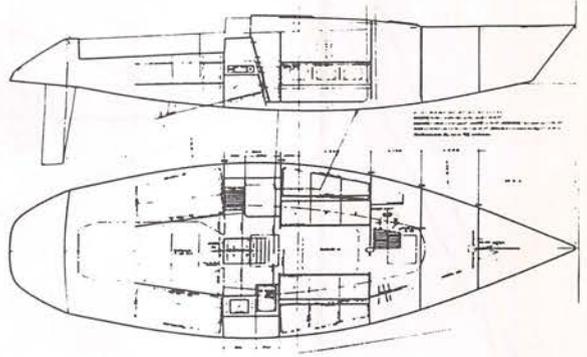
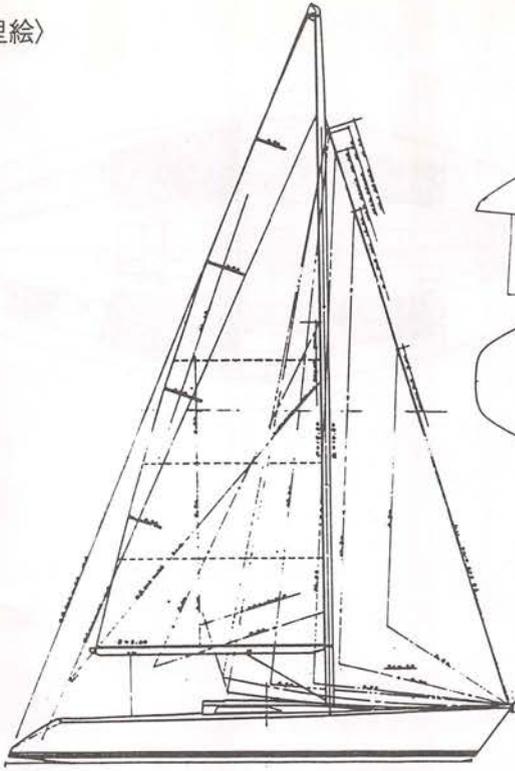
<ZERO>



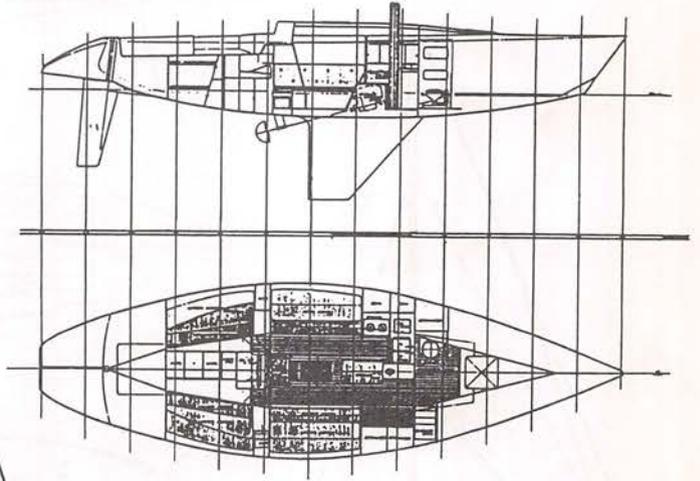
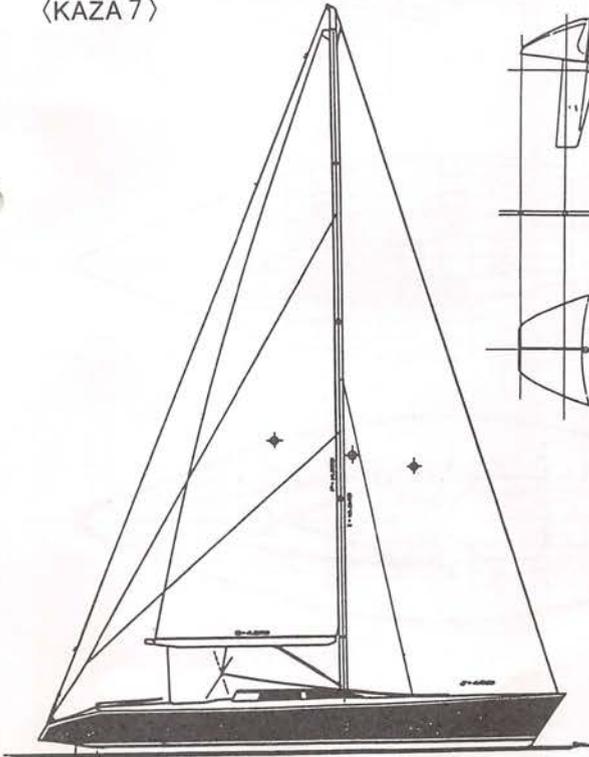
<ROCINANTE>



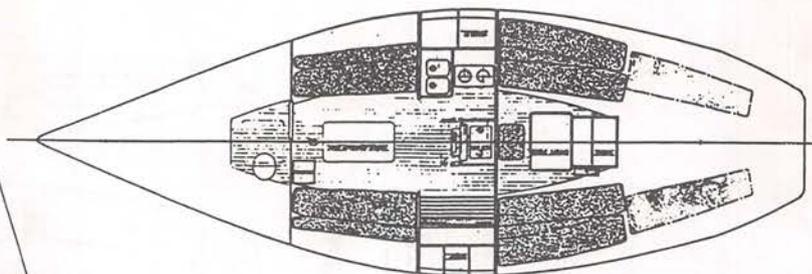
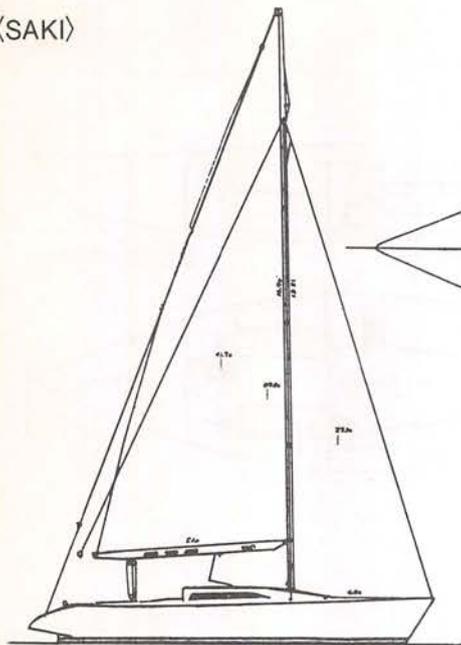
〈麻里絵〉



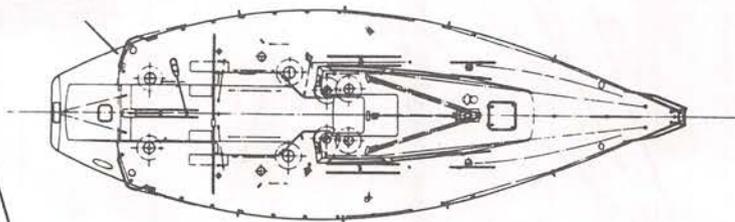
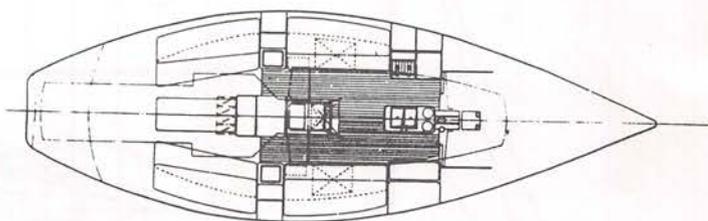
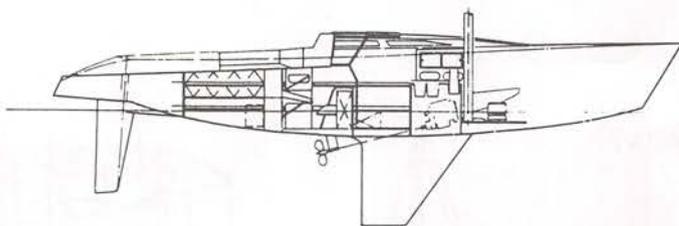
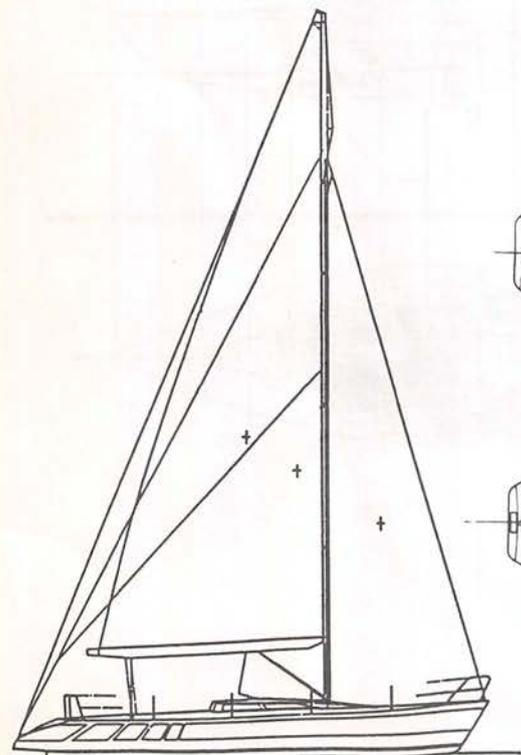
〈KAZA 7〉



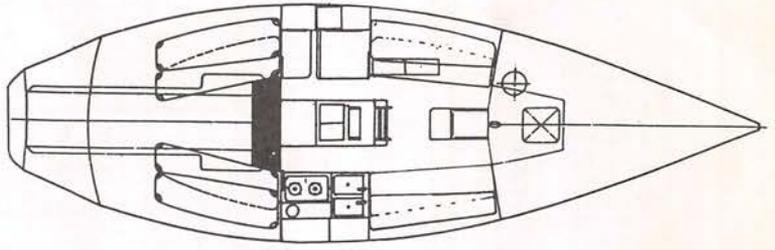
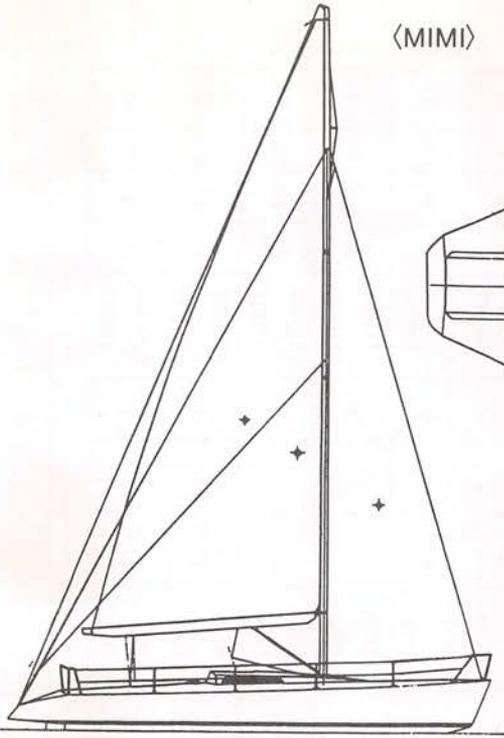
<SAKI>



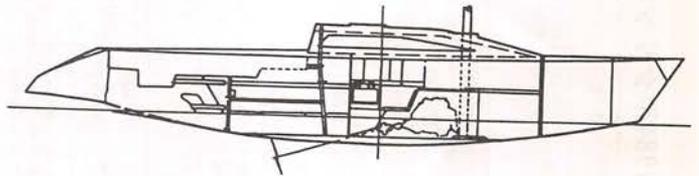
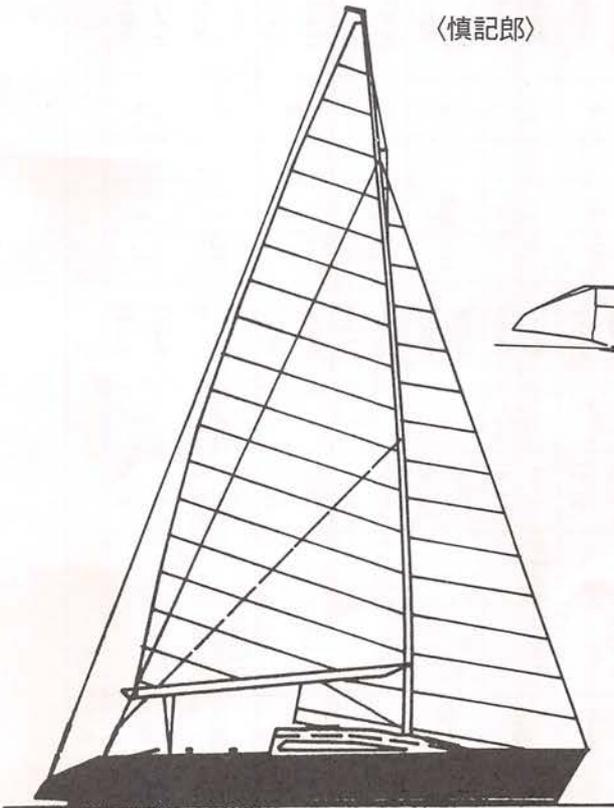
<KARASU>



〈MIMI〉



〈慎記郎〉



1984年クリップカープシリーズナショナルチーム選抜レース成績表

セー ル No	艇 名 (所属フリート名)	T.C.F レーティング	第 1 レース				第 2 レース				第 3 レース				第 4 レース				総合 順位			
			着順	所要時間 修正時間	修正 順位	得点	計	着順	所要時間 修正時間	修正 順位	得点	計	着順	所要時間 修正時間	修正 順位	得点	計	着順		所要時間 修正時間	修正 順位	得点
<b>西チーム</b>																						
1770	カザ7 内海支部	.8159 (30.9)	①	146869 119830	②	6	3	13729 11201	4	1	7	①	10145 8277	③	2.0	9.0	3	83874 68432	③	3.0	12.0	③
2800	サキVI 内海支部	.8114 (30.4)	2	147311 119528	①	8.5	2	13660 11083	②	3	11.5	2	10172 8253	①	4.25	15.75	DNS		4	1.5	17.25	①
3135	ミミ 西内海支部	.8050 (29.7)	DNF		3	4.0	4	13897 11187	③	2	6	3	10258 8257	②	3.0	9.0	2	83761 67427	①	6.375	15.375	②
3150	マリエ 玄海支部	.8168 (31.0)	DNF		4	2.0	①	13476 11007	①	4.25	6.25	4	10539 8608	4	1.0	7.25	①	83688 68356	②	4.5	11.75	4
<b>東チーム</b>																						
3220	KARASU	.8123 (30.5)	DSQ	87420 71011	DSQ	0	6	10492 8523	4	4		5	9486 7705	5	3		DNC		DNC	2	9	7
3210	ROCINANTE	.8583 (35.8)	①	86323 74091	4	6	②	9966 8554	5	3		②	8830 7579	②	6		②	※137400 125006	5	6	21	5
3295	あさま	.7967 (28.8)	4	87056 69358	①	10.875	5	10453 8328	②	6		7	9691 7721	6	2		5	※152548 122750	4	8	36.85	②
3031	スーパースタンバード	.8239 (31.8)	②	86350 71144	③	7.5	③	10387 8558	6	2		4	9416 7758	7	1		③	141984 116981	①	14.5	25	4
2220	慎記郎	.7863 (27.7)	5	89820 70625	②	9	7	10496 8253	①	7.25		6	9682 7613	③	5		6	※153389 121816	③	10	31.25	①
3070	ZERO	.9011 (41.1)	DNC	0 0	DNC	1.5	①	9313 8392	③	5		①	8264 7447	①	7.25		①	※127923 118730	②	12	25.75	③
2872	摩利支天	.855 (35.4)	③	86841 74249	5	4.5	4	10422 8911	7	1		③	8928 7633	4	4		4	※148235 130543	6	4	13.5	6

※ベナルディー

東チーム・乗組員一覧

参加者名	メンバーNo	第1レース	第2レース	第3レース	第4レース	参加者名	メンバーNo	第1レース	第2レース	第3レース	第4レース
<b>KARASU</b>						一ツ谷泰治	73-181	○		○	○
斜 森 保 雄	77-83	◎		○		柴 木 幹 雄	東76-049		○	○	○
大 槻 正 宏	82-125	○				佐 藤 裕			○	○	
竹 内 誠	76-59	○	◎	◎		伊 藤 光 彦			○	○	
大 木 克 也	77-154	○	○	○		<b>慎 記 郎</b>					
高 橋 喜 久 男	81-27		○	○		蝶 野 春 太 郎	75-139			◎	
二 陸 堂 隆	81-15	○	○	○		戸 叶 幹 雄			◎	○	
尾 村 久 俊	78-172	○	○	○		ロバートE・フライ		◎	○	○	◎
金 沢 五 成	83-	○	○	○		大 井 真 二	77-188	○	○	○	○
坂 本 賢 司	81-048	○	○			得 草 知 彦	72-172	○	○	○	○
上 田 健 吾	83-098	○		○		高 橋 司 郎	79-173	○			
伊 藤 静 美		○				土 屋 恵 嗣	79-174	○	○	○	
具 道 盛 孝			○	○		原 良 郎			○		○
本 吉 讓 治	78-150	○	○	○		辻 太 蔵	83-056	○	○	○	○
磯 貝 均			○	○		伊 藤 信 司			○		
遠 藤 公 章				○		松 崎 孝 男	83-014	○		○	○
<b>ROCINANT</b>						松 村 比 呂 志					○
関 口 徹 夫	70-141	◎	◎	◎		<b>ZERO</b>					
大 口 慎 司	66-625	○				石 坂 啓 一	83-035		◎	◎	◎
大 口 善 太	67-805	○	○	○		小 林 克 美	71-076		○	○	○
小 林 孝 和						前 田 利 一	73-282		○	○	○
石 塚 寿 一 郎	80-048	○		○	○	山 下 新 平	68-882		○	○	○
渡 辺 哲 世		○	○	○		石 坂 彦 太			○	○	○
山 崎 史 郎	78-154	○	○	○	○	菅 井 英 夫			○	○	
江 口 正	79-086	○	○	○		森 亮 介			○	○	○
小 田 島 博	78-165	○	○	○		松 本 俊 彦			○	○	○
浅 野 基 宣				○		水 田 寛			○	○	
児 玉 善 太	73-134	○		○		津 村 重 孝	81-146		○		
小 島 順	79-104		○	○	○	柿 沼 浩 行	82-123		○	○	
上 園 隆 徳	77-007	○	○	○	○	山 本 仁	71-253		○		○
阿 部 忠 広		○			○	中 村 一 司	79-045		○		○
大 川 幹 雄		○	○	○		岡 田 良 平	81-127			○	
長 谷 川 淳		○	○	○	○	北 崎 敦	79-024			○	○
ハンス・シロイヤー	83-061			○		藤 井 成 一				○	
<b>あ さ ま</b>						山 下 正 明	71-077		○	○	○
戸 田 寿 男	69-157	◎	◎	◎	○	浅 見 滋 一					○
久 野 泰 次	75-026	○			◎	及 川 明 徳	83-154		○		
酒 井 雅 幸	75-085			○		富 沢 宣 夫			○	○	○
池 本 孝 徳	83-051	○		○		マリスト・バーボン				○	
西 水 聡		○		○	○	<b>摩 利 支 天</b>					
丸 藤 純 夫	82-013	○	○	○	○	羽 柴 宏 次	71-090	◎	◎	◎	◎
佐 藤 公	81-045	○	○	○	○	武 田 勝 彦	81-103	○		○	○
長 島 正 己	83-131		○			服 部 一 良	64-432	○			○
渡 辺 秀 樹		○	○			高 橋 良 寿	80-054	○	○	○	○
井 上 玲	78-133	○	○	○	○	山 下 孝 一	83-156	○	○	○	
村 松 哲 太 郎	75-008		○			有 山 聡			○	○	○
高 野 繁 利	82-034	○	○	○	○	新 埜 茂	79-134	○	○		○
東 島 和 幸				○		梶 並 俊 彦			○		
<b>スーパースタンバード</b>						小 嶋 仁			○	○	
有 馬 敬 三	76-013					永 谷 康 二	82-009	○			
広 谷 忠 彦	69-065		○			吉 田 仁 史	83-157	○	○	○	○
清 水 宗 己	77-003			○		中 野 智 治	83-158	○	○	○	○
鷺 尾 猛	73-133	○	○	○	○	落 合 健 二	81-125		○	○	
高 橋 雅 行	75-037	◎	◎	◎	◎	川 上 京 子	80-123			○	
野 村 雅 隆	80-060	○	○	○	○	大 田 俊 孝	81-110		○		
西 岡 昌 章	83-057	○	○	○	○	保 莉 理	84-019			○	○
松 岡 義 幸	80-059	○		○		小 川 秀 樹	81-098			○	○
小 林 隆 太	81-016	○	○			池 田 正			○		○
笹 川 信 竹	78-003	○	○			八 若 典 夫					○
箱 守 康 之	77-006		○	○	○	◎はスキッパー					

3年

西チーム・乗組員一覧

参加者名	第1レース	第2レース	第3レース	第4レース	参加者名	第1レース	第2レース	第3レース	第4レース
<b>サキ VI</b>					多方俊博	○	○	○	
宮内雄敬	◎	◎	◎		尾芝 仁	○	○		
多胡康治	○		○		角野正憲	○			
阿部 隆	○	○	○	○	塩見 漳	○			
西村克己	○	○	○		深見祐二		○	○	○
高尾育太郎	○	○	○		深見圭一		○	○	
吉角立自	○	○	○	○	田村敦司		○	○	
川上 巖	○	○	○	○	酒井敏悟		○	○	○
門田公正	○	○	○	◎	川島正通		○	○	
三船清二	○				西野隆文		○		
霞未昌宏	○	○	○		西川				○
山本秀雄	○				野中 渡				○
寺山紘史		○			小西義秀				○
横山一郎		○	○		<b>マリエ</b>				
<b>ミミ</b>					平島哲夫	◎	◎	◎	◎
穂本慎一郎	◎	◎	◎	◎	波多江研一	○			○
山山 悟	○	○	○	○	倉重 聖	○			
竹内幸一郎	○				浜口和孝	○			○
小笠原 徹	○	○	○		木原重文	○			○
中村吉展	○	○	○	○	大橋且典	○			
安部正彦	○	○	○	○	竹内 裕	○			
下光征雄	○	○	○	○	杉浦 衝	○		○	
原田真治	○			○	末松 明		○	○	
榎本久薫	○		○		広渡 真		○	○	
永沼勝也		○	○		浮田芳典		○	○	
高畑己代治		○	○		高取淑子		○	○	
山田義典		○	○		根岸 登樹		○	○	○
神成三平				○	川添龍男		○	○	
<b>カザ 7</b>					吉田俊明			○	
森 清司	◎	◎	◎	◎	斉藤順一				○
諏訪 禎男	○				武部博倫				○
正井良和	○		○	○	松本 豊				○
真鍋重幸	○	○	○	○	山本雅博				○
横田順市	○	○	○	○	津田 徹				○
柏元孝博	○		○	○	◎はスキッパー				

〈摩利支天〉からの抗議について

今回のレースで〈摩利支天〉から〈KARASU〉に対する抗議書が審問委員長に提出されました。以下はその抗議内容と決議文です。

抗議書

'84クリッパーカップ参加東日本代表選抜レース審問委員長殿

〈摩利支天〉艇長・羽柴宏次

①当該レース出場艇〈KARASU〉のハルには明らかなフォローが認められる。これは、IORⅢ・ⅢAルール、総則103に違反。従って〈KARASU〉は、本レース帆走指示書規定の参加資格をみたしていないと認められる。

②本レースにおける〈KARASU〉の乗員は、IORⅢ・ⅢAルール1982年追加事項103に違反。

上記の各項に関して、これに抗議する。

判決

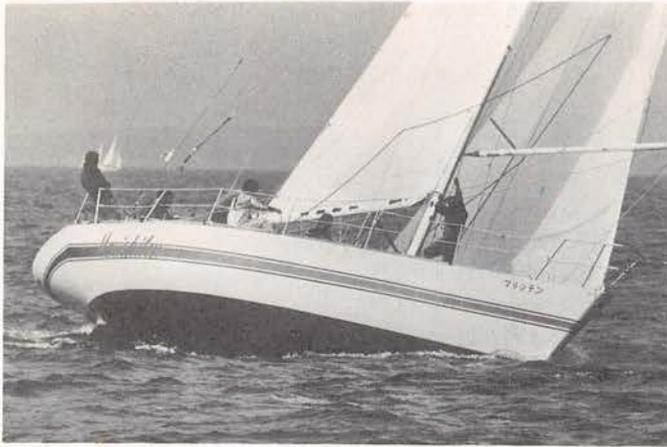
1984年クリッパーカップ参加東日本代表選抜レースの第1レースにおいて〈摩利支天〉(セールNo. 2872, 艇長・羽柴宏次)より〈KARASU〉に対して提出された抗議について本審問委員会は、下記の通り判決を下します。

①〈KARASU〉のハルに存在するホローは、58年7月の第一回計測時よりも拡大している。

このホローが埋められないままレースに参加した〈KARASU〉はIOR 103.3に違反している。

従って〈KARASU〉は第1レースを失格とする。

ただし、第2、第3レースについては、オーナーはこのホローを埋める意志もあり、時間もあつたが、本審問委員会の都合上埋めることをまたせたので、4月14日、15日の第2、第3レースには既に埋める時間は



〈KARASU〉に対して抗議した〈摩利支天〉



抗議された〈KARASU〉

なくなった。従って〈KARASU〉がこのまま第2、第3レースに出場する場合、第1レース同様に失格とされることをのがれたいと考えれば、IYRR 69により救済の要求をすることが出来る。この要求があれば当委員会はIYRR 74.2により救済を考慮する(IYRR 70.3)余地がある。

②IOR 103により計測委員が利害関係者と判断されればその計測員が計測した計測証明書は無効と考えられる。

〈KARASU〉の計測をおこなった計測員は〈KARASU〉の利害関係者と見なすという見解もある。

〈KARASU〉の所持する計測証明書が有効か無効かは微妙な問題を含んでいるが、計測員が不足している現状に鑑み、当審問委員会は計測委員会に対して計測員の増強その他の改善を期待する。

この改善が実施されるまで、当審問委員会は言及をさし控える。

昭和59年 4月13日

'84クリッパーカップ参加東日本代表選抜レース  
審問委員会委員長 石井正行

### 〈KARASU〉オーナー殿

'84クリッパーカップ参加東日本代表選抜レース  
審問委員会委員長 石井正行

IYRR 69に基づいて〈KARASU〉より提出された救済要求は妥当であると認め、IYRR 74.2により、第2レースおよび第3レースについては〈KARASU〉のホローに対して失格その他のペナルティーを課さないものとする。

### (理由)

- ① 〈KARASU〉は第1レース終了後、ホローを埋める意志があった。
- ② 現状のホローを確認するために、コミッティーサイドで埋めることを一時中止させた。
- ③ そのため第2レースおよび第3レースまでにホローを埋める時間的余裕がなくなった。
- ④ 従って、第2レースおよび第3レースでホローが埋めてなかったのは、〈KARASU〉サイドの責任ではないと考えられる。
- ⑤ このホローがあっても性能上有利にはならない



5位の〈ROCINANTE〉



4位の〈SUPER SUNBIRD〉



健闘した2位の〈ASAMA〉

し、また、このホローを埋めてもレーティングは変わらない(計測委員長報告)ものと認める。

### 東日本代表選抜レースの ペナルティーについて

'84クリッパーカップ東日本代表選抜第4レースに

おいて安全検査の結果、貴艇に不都合な点がみうけられた。

従って、当該レースの所要時間にたいし、次のペナルティーを与える。

ペナルティー：

- 〈あさま〉……………1%
- 〈ROCINANTE〉……6%
- 〈摩利支天〉……………3%
- 〈ZERO〉……………3%
- 〈慎記郎〉……………1%

昭和59年 4月26日

'84クリッパーカップ参加東日本代表選抜レース

レース委員長 佐藤和夫

以上、この結果を参考として国際委員会がナショナルチーム2チーム(6艇)を選出いたします。

\*

## あなたのクルージングに安心を乗せて



潮風のメッセージを運ぶ…

### 「船舶電話」

船舶電話があなたの海の休日をより楽しく安全なものにします!

忙しいあなたもこれさえあれば安心です!

※陸上でのプライベートタイムはパーソナル無線「コネクタス」でエンジョイしましょう。



**JMT** 日本船舶通信株式会社

■お問い合わせ先

横浜 ☎(045)201-2991  
神戸 ☎(078)331-4606

## テッド・ターナー氏、来日



◀石原 NORC 会長と歓談するテッド・ターナー氏 (撮影・中迎隆敏)

▲大儀見 NORC 副会長とテッド・ターナー夫妻 (撮影・中迎隆敏)

話題の人、テッド・ターナー氏が来日した。

名艇〈ティナシャス〉(食いついたら放さないの意)を駆って世界中の外洋レースを席卷し、1977年のアメリカズ・カップを〈カレイジャス〉で防衛、全米中を沸かした輝かしい戦績を持ったターナー氏だが、ここしばらくは多忙なビジネスのためか、外洋レース界から遠ざかっていた。

しかし、昨年のアドミラルズ・カップに米艇〈ルクーラ〉で参加。さらに、シドニー〜ホバート・レースではマキシボート〈コンドル〉のヘルムをとり、香港〜マニラレースでも〈コンドル〉のスキッパーとして参加し、現役に復帰した。

今回の来日は、彼がオーナーを務めるニュー・メディア関係の商用のためだったが、その折、多忙なスケジュールの合い間、NORCの有志とも歓談の機会を持った。

「アメリカズ・カップのことをよく質問されますが、私個人としては現在挑戦する気はありません。このレースはオリンピックに出場するのと同じくらい時間がかかるし、いまの私にはそんな暇はありません。それに一度勝っているし……。

いまは時間も出来たので〈コンドル〉のスキッパーとして外洋レースを楽しんでいますよ。新艇の建造もいまのところ考えていません。

パンナム・レース? もちろん〈コンドル〉で参加しますよ。日本のヨットマンとレースで会えることをいまから楽しみにしています。」

日本のマスコミでは、ニュー・メディアの旋風児として“時の人”となったテッド・ターナー氏だが、外洋レースの世界でも、またぞろ話題を提供してくれそうだ。

## お知らせ

関東支部の会員の皆さまに、(社)日本外洋帆走協会関東支部と西武スポーツ館のタイアップにより、西武スポーツ・池袋店、吉祥寺店マリショップにて会員証を呈示されれば、マリウェア・用品を特別価格にてご優待が受けられます。ぜひご利用下さい。

西武スポーツ・池袋

☎(03)981-0111(内)5423 担当:加藤

西武スポーツ・吉祥寺

☎(0422)21-3111(内)32 担当:池田

### “システム KAZI” 誕生

先ごろ舵社では、会員制愛読者サービス機関として“システム KAZI”という、銀行自動振込による新しいシステムが採用されました。このシステムによれば、

1. 「KAZI」または「HELM」が、手数料も送料もいらずに、毎号、書店発売とほぼ同に、完全包装で、指定の場所に届けられる。
2. 舵社の書箱が、電話1本、ハガキ1枚で、手数料も送料もいらずに入手できる。
3. 舵マリカタログ商品(書籍、設計図を除く)が10%引きで購入できる。
4. 一般書店で扱われている雑誌、書籍(合計2,000円以上・送料実費)も電話、ハガキ等で注文できる。
5. その他、様々な特典が受けられる。

というものです。雑誌「KAZI」または「HELM」の定期購読契約をするだけで“システム KAZI”の会員になることができ、北海道から沖縄まで日本全国どこからでも利用できます。

# Maxiレース

## 平田克己

1月30日(月)は、第144回 Auckland Anniversary Day Regattaの日であった。これは Auckland のヨット界最大の行事で、何と600杯ものヨットが集まるといふ。たまたまこの日は470級世界選手権第3日に当たり、観戦もできぬかと半ばあきらめていたが、ジェリーの長 Wagstaff 氏の勧めもあって、Don Brown 氏の〈Anticipation〉に乗艇、レースに参加する機会を得た。

Brown 氏は、1964年の東京 Olympic には、ニュージーランド・チームの監督を勤めた由であるが、現在では、Auckland で牛や鶏の農場を経営する傍ら、Bob Miller 設計の〈Anticipation〉を駆って、Noumea/Auckland レース、Hawaii の Clipper レースに活躍を続けるヨットマンである。昨年6月、夫人とともに来日した折、お世話したのが縁で、今回の招待となったものであるが、親切は尽すべきものと感じた。

〈Anticipation〉の設計者である Bob Miller は、アメリカス・カップ奪還で有名な〈Australia II〉を設計した Ben Lexon と並び称されるヨット・デザイナーであるが、〈Anticipation〉は全長50フィートのスloopで、1982年の Clipper カップ・レースに参加の後、キールを改造した結果、昨年のクリスマス前に行われた Epigrass I. O. R. シリーズで優勝するなど、今回の Regatta でも、優勝を狙う第一級のヨットである。

さて、当日は雨もよりの曇り空ながら、東の風6～

10メートルとまずまずのコンディション。乗艇して見ると、ゲストを含め合計20名はいただろうか、レースだというのに、こんなに乗せていいものかと、他人事ながら心配したが、この辺が Brown 氏の人の好さのなせる業かもしれない。

Keeler 第一部は下表の10杯であった。

いずれもワントン以上の Maxi Boat (大型艇) であるが、この中で注目されるのは、〈Condor〉と〈Exador〉である。〈Condor〉は、Ron Holland の設計で、有名な〈Kioloa〉の姉妹艇であるが、昨年末の Sydney/Hobart レースで座礁したものの、抗議により優勝と認められたといった経緯がある。今回は破損したキールの修理なつての特別参加で、オール・ケブラーのセール、黒くコンドルを浮き出した黄色のスピンは、このレースの圧巻たるを失わない。

また、T. McCall の〈Exador〉は、Bruce Farr 設計のワントナーで、Southern Cup に優勝したニュージーランド・トリオの精鋭である。

コースは Orakei Wharf をスタートするコース A (図参照) であるが、正11時、全艇風を後ろに受け、早くもスピンを上げてのスタートである。プロレスラーともおぼしき大男が2人、コーヒー・グラインダーにつき、するするとスピスが上がると、止めてあった糸が切れて、青と赤の大きなスピスが空いっぱい広がる。

我々のスタートは3番手で、〈Condor〉はだいぶ遅れた。でもケブラー製のセールはさすがに偉力十分で、他艇を尻目に早々と抜け出して行った。

まずは Channel Buog NO. 4、つづいて Motuihi Buoy。ここでスピンを下ろして上りにかかる。

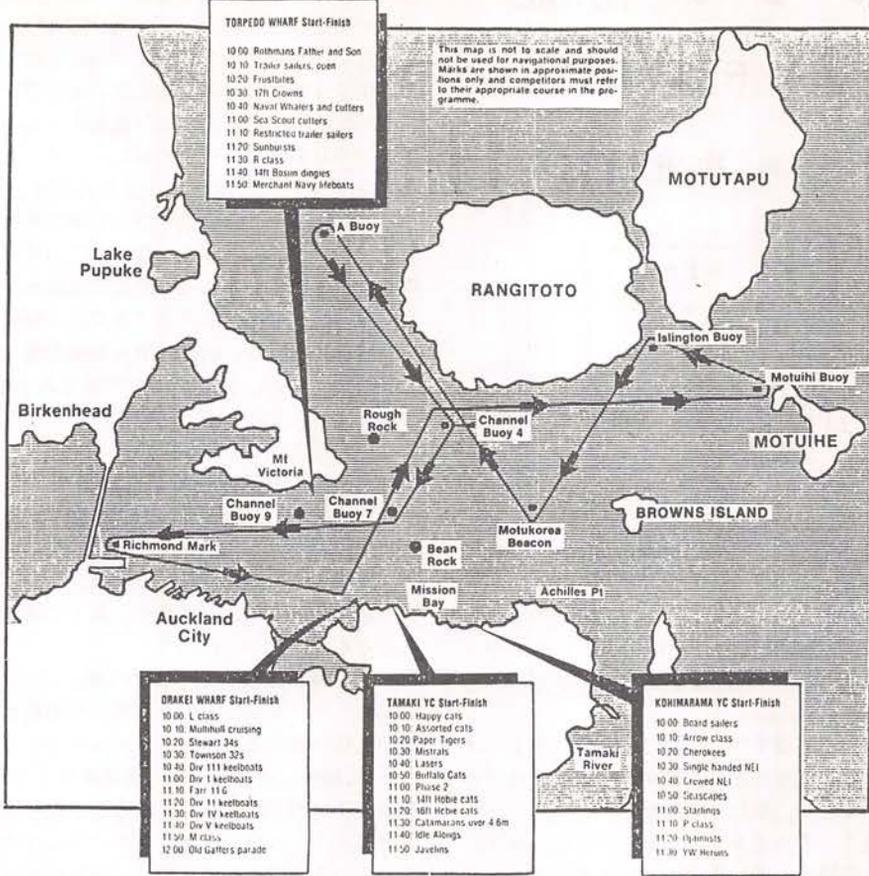
Islington Buoy から Matikorea Buoy への上りの途中、ポートタックで、我々の前を横切ろうとしたヨットがいた。ギリギリに通過したヨットに対し、「抗議するぞ」と Brown 氏の声。抗議の審問の際は、クルーの1人として証言する用意がある旨伝えたが、結局は、相手は友達ということで、抗議は提出されなかった。

Motukorea Bouy を回航するや、再びスピンの展開。A Buoy でスピンを下ろしにかかったところ、手際が悪く、水に落としてしまい、艇は流されるわ、スピンはなかなか拾えずで、散々だった。

でも Brown 氏の艇はなかなかのものだったし、風がちょっと強くなると、だれが声をかけるともなく、デッキの全員がさっと風上へ、風が落ちると、少年まで一斉に風下に移動する。しかもだれ独りのんびり立っているものはいないといった勇ましき、さすがヨット王国ニュージーランドと感じた。メンシート1人、ジブシートは両サイドに1人ずつ、ハンドルをつけた大きなウィンチにつく。ジブの場合、タッキングにはまずコーヒー・グラインダーでいっぱい引き込んだ後、ウィンチの微調整となる。1人で間に合わなくなると、風上の1人が応援に出るといった仕組である。

セール番号	艇名	オーナー	全長	設計者	レーティング
2222	Anticipation	D. Brown	50	Bob Miller	954
1746	Astrolabe	J. Salthouse	50		847
5313	Commotion II	T. Swssex			880
22	Ranger	L. Tercel	60		925
2323	Exador	T. Mc Call	40	Bruce Farr	900
81	Innismare	B. D. Schmidt	67		975
50	Ta Aroa	W. Gilfoyle	60		930
4909	Marshall Low J. Murray				940
	Shockwave		44		
特別参加					
	Condor	B. Bell	80	Ron Holland	

Maxi レースコース



コースは Channel Buoy NO. 4 を逆サイドから回航, NO. 7 を過ぎると, 再びスピンに加えてシューターまで上げた。内地で見る倍以上大きいスピンは見事だが, フラクショナル・リグの〈Shockwave〉の速いこと, たちまち置いて行かれてしまう。

Richmond Mark 回航, ここでスピンを下ろしにかかった途端, 水に落とし, たちまち地曳網になってしまう。手を貸すがその重いこと。大変なロスだ。やっとスピンを引き揚げると, フィニッシュラインの Orakei Wharf へは上り一本である。細かいタックの連続。10数名のクルーが「スタンバイ」「タック」の声に, コーヒーグライダーを回すもの, 重いセールを反対の舷に運ぶもの, クルーの一条乱れない奮闘を見ていると, 日ごろの訓練の厳しさがしのばれる。オーストラリアへ, ニューカレドニアへ, はてはハワイへと, 歴戦の〈Anticipation〉にとっては, これらクルーの動きは当然のことなのであろう。

〈Condor〉は13時51分14秒に早くもフィニッシュ。我が〈Anticipation〉はトップの〈Innismara〉に遅れること1分(14時26分23秒)でフィニッシュ。  
 〈Ta'Aroa〉14時31分22秒, 〈Shockwave〉14時33分

56秒とつづく。問題の〈Exador〉は意外に振わず6位(14時41分32秒)でフィニッシュした。いずれにせよ, スタートからフィニッシュまで3時間半が何と短かったことか, さすがに Maxi のレースは緊張の連続である。

セールを下ろしてハーバーに帰投すると, それを待っていたかのように雨が降ってきた。前後に分かれた後ろのキャビンで用意のランチをパクつく。

この日のレースは, 大型艇が我々の想像以上に軽々と操られ, クルーがそれぞれの持場を確実に守って, 生き生きと動くのを目の当たりに見たという点において, また10杯に及ぶ大型艇が色とりどりのスピンを展開, 豪快なセーリングを見せてくれたという意味において, 私の終生忘れ得ざる思い出となるにちがいない。

なお, レースの修正順位は次の通りであった。

1. Ta'Aroa
2. Anticipation
3. Exador

# エンジン物語

## PART II

玄海支部広報 片倉静江



何はともあれ、

祈 熱烈活躍(飛梅)・〈マリエ〉(パンナムクリップレース) AND 応援参加〈ヴァンガード〉メンバーズ。

ちっこい玄界灘を抜け出して、外洋へ出よう！  
祈 レース中の無事故と、回航中エンジントラブルのないことを、切に、切に祈る。

(優勝？ もうあきたと申したではないか？)

幼いころ、鉤掛をしている大工さん達を、一日中眺めたものだった。あの木の匂いも好きだったが、彼等の節くれだった手の動きが面白くて、彼等が動けばその後を追うという調子で、「もう帰れ。お母さんが心配するぞ」と言われて、しぶしぶ立ち上がる仕末だった。自転車のチェーンやボディを磨いてくれた、油だらけの父の大きな手も懐かしい。

女性はメカに弱いとよく言われるが、男性に頼めばいいじゃないかと軽く考えていたのは以前のことで、ヨットを始めて、大変なことになったと思った。まずエンジン。いつも男性軍にお願いしていたが、ガソリンエンジンならともかくも、電気系統のないディーゼルエンジンくらいには強くなりたいたい、知人の紹介で、ある人に弟子入り(ノ)をお願いした。正直に言って油やグリース類は苦手だったが「人に出来ることが、私にできないはずはないのだ」と、何が理由だったか思い出せないくらい恐ろしいほどの自信に満ちあふれていたころだったので、その意気込みたるや……。

赤いマニキュアをジロッと見て親方は言った。

「手や爪が油類で真黒になるのは承知の上なんだろうね？ 石けんで洗ったくらいではとれないし、指紋にまで染みこんでしまうんだ。わかるかね？」

「ええ、でも手袋をはめてやりますから」

「手袋？」

「軍手でなく、ゴムの手袋ですから大丈夫です」

「……全然わかってないんだね。油の粘っこさや、まざりものとかを、二本の指先で確めたりするんだ。また、小さな油だらけの部品を狭い場所で身体をよじって取り付けなくちゃならないときもあるのに、手袋をはめてやります？ 冗談じゃないよ！ お断りだね」

エンジニア入門はそれっきりになり、自習もしなかった。その不勉強の報いが、去年のアリランレースでのエンジントラブルにつながってしまった。出国前、専門家に総点検してもらったのに冷却水がまわらず、玄界灘の真只中で、広島(カズ)の知久良廣氏に緊急処置をして頂き、低速でやっと釜山港へたどり着くという聞かも涙、語るも涙の物語であった。(小さなビニールが入り込んで、通路をふさいだり、開けたりしていただけたが……)

釜山ホテルのドアを閉めた途端、悔し涙があふれ、その時に決心した。ようし、今に見ておれ、乙種機関士になってみせるわいと。しかし市販されているディーゼルエンジンに関する本は、特殊専門用語と数字(数値?)がやたらに多く、素人には難解で、あきらめざるを得なかった。

そこへ降って湧いたように「舵」誌3月号に、「エンジントラブルシューティング」が掲載された。恩人の知久氏の筆によるもので、わかりやすい文章とイラストは、機械に弱い素人にも勇気を与えてくれた。ヨット雑誌の名門「舵」は、何故今まで取り上げなかったのだろうか？ エンジントラブルに泣かされているオーナーもいると思う。寒冷時、なかなかエンジンがかからず、「オーイ！ バッテリーがあがるぞ！」と驚かされながら、数回目にやっとかかる始末だったが、3月号に書いてある通りやったら一回でかかった。その勢いに乗り、それまで男性軍にお願いしていたエンジンオイル交換も一人でやってみたくなり、ロッカーから小型モーター付交換機を持ち出した。ただし、バッテリーにモーターのエンドをつけるのだけは何となくおっかなくて友人につけてもらった。(やはり女って駄目ね。直流じゃあるまいし、何が乙種機関士さ?) 廃油吸い出しから何から何まで済み、床に敷きつめた新聞紙を片付けるころは鼻歌が出るほど何かしら楽しかった。半年振りのオイル交換を「早すぎますよ」と友人に言われたが、4月号に「一年に2回、1月と7月が適当、ヤンマーは100時間云々」とあった。(でしよう？ オイル交換機貸さないぞ)。

また、蛍光灯のグロー管取り替えさえも電気屋を呼びつける親友(毒舌家)に自慢した。

「そう？ 素適なお話ね。女はやはり、油だらけの汚ない臭い手で、なりふりかまわずエンジンオイルを交換している姿が美しいわね。お台所でエプロンかけてお料理している姿なんてみっともない！」

「？」

北海道支部だより

SEA FAIR '84

北海道で初めての海の祭典「SEA FAIR '84」が来る6月23日より7月8日までの16日間、小樽港を基点として石狩湾内で、(社)日本外洋帆走協会北海道支部、日本ヨット協会北海道ヨット連盟、ボードセーリング協会北海道支部の主催で開催されます。

参加艇数はクルーザー級ヨット30隻、ディンギー級ヨット100隻、ウインドサーフィン150隻、クルーザー級モーターボート10隻、日本各地の支部よりのフレンドシップクルージング10隻、ナホトカ市よりのクルーザー級ヨット2隻、EXPO '85サイエンスクルーズ(新さくら丸)1隻、ナホトカ市からの観光船1隻と約300隻の海の祭典となり、本道始まって以来の海上イベントとなります。

ヨットレースの部では、日本海横断レース、ポイントレース、国際親善レースが各部門別に、また、シンボジウム、エキシビジョンスクールも予定しています。さらに、淀泊バース、ピアイロナイ(予定)でのレーザーショー、イルミネーション、花火等も企画されており、陸上においては、第7回ボートフェスティバル(昨年動員28万人)を実施、コンサートや出店等200店を越すお祭りになります。

主催 (社)日本外洋帆走協会北海道支部 北海道ヨット連盟

協力 小樽市、ナホトカ市、日ソ協会、小樽博覧会、ポートフェスティバル実行委員会 マイハーバーオタル実行委員会

企画 (株)電通

■日本海横断ヨットレース (日ソ親善ヨットレース)

小樽市とナホトカ市の友好的理解のもとで、日ソ間を結ぶヨットレースが実現しました。このレースは、海象条件のきびしい日本海を舞台に、400マイル・100時間前後にわたる苛酷な条件下でのシーマンシップを競うレースです。スタートからゴールまでTV中継し、激しいレース内容を随時放映する予定です。

主催 (社)日本外洋帆走協会北海道支部

協力 小樽市、ナホトカ市、小樽博覧会、TV局  
後援 日ソ協会、北海道ヨット連盟  
運営 (社)日本外洋帆走協会北海道支部  
出場艇 別表参照

※レーシング要項は(社)日本外洋帆走協会より参加艇に配布される予定です。

■ポイントレース

◎クルーザー級ポイントレース (24t以上)

小樽港沖と石狩湾沖の3点を結ぶコースで行われます。参加艇は、約10~20艇で、ハイレベルなレース展開になると思われます。

◎ディンギー級ポイントレース (23t以下)

小樽港沖に設置される3点のポイントを結ぶコースで行われます。参加艇は100艇を超えるスケールの大きいレースです。

◎プレ・レース

本レースの1週前の7月1日(日)に各クラスのポイントレースをプレ・レースとして実施します。このプレ・レースは、本レースの観客動員のために全国のTV・ラジオ・新聞・雑誌等の媒体取材があり、かなりのパブリシティ効果を生むと予想されます。

主催 (社)日本外洋帆走協会、日本ヨット協会北海道支部

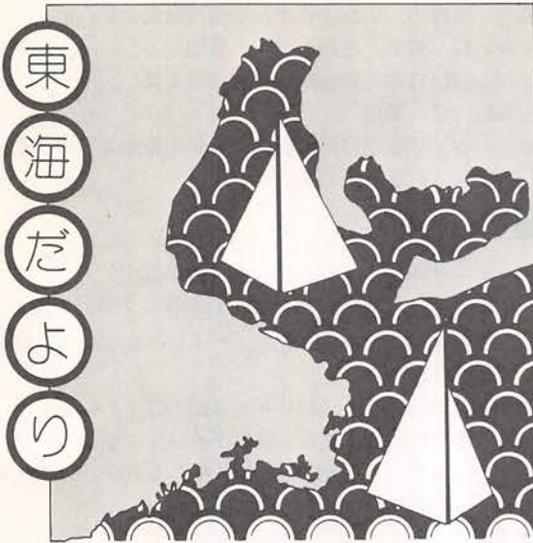
協力 小樽市、石狩町、媒体社、スポンサー各社  
後援 日本モーターボート協会(未定)

運営 (社)日本外洋帆走協会北海道支部

※レーシング要項は各参加艇に配布される予定です。

日本海横断ヨットレース出艇名簿

艇名	フリート	艇長 フィート	乗員 人数	艇長名	備考
アブリコット	石川 崇松任市	33	7人	新谷 博	YA 33C
アムール	富山 市	34	5人	上口 道義	TAKAI 34
ワンダー	富山 市	32	8人	水島 清宏	YOKOYAMA 32
ミス日本海II	柏崎 市	38	9人	坂田 一憲	SS 38
ユリシーズIII	柏崎 市	32	7人	渡辺 正道	YOKOYAMA 32
サムライV	函館 市	33	8人	加藤 寛治	BW 33
ニックスII	函館 市	26	6人	和泉 周二	YA 26S
ファンシーベル	釧路 市	30	3人	関 重美	YA 30
オーシャンガイ	小樽 市	41	10人	海老名 敏男	KING 41
バルテノス	"	39	12人	横尾 紘一	OKERA 39
メイフラワー	"	37	8人	城丸 隆	HAYASHI 37
青雲	"	35	8人	猿渡 肇	ALBIN 35
マイウエイ	"	30	8人	本江 悠紀	YA 30
アンタレス	"	30	3人	上田 良夫	YA 30C
計		101人			
キャプテングリシン	ナホトカ	39			
アルゴ	"	"			



## 第3回東海チャンピオン カップを手にして

〈スーパールーシー〉 水谷友彦

春の嵐, そんな言葉がぴったりしそうな3月18日,  
20日の両日, 1984年オープニングレースともいうべき

スプリングシリーズが, 日産マリーナ沖で行われた。このシリーズはフリート対抗でもあり, 我々〈スーパールーシー〉も幡豆フリート代表の一員として参加。朝7時にマリーナに集合, 眠い目をこすりながらの機装も寒さのためかつらい。

午前9時, 風速10~15 mの北西の風, 第1レース・オリンピックコースのスタート。

上マークを〈マーク〉が一番手で回航して行く。続いて〈ルーシー〉, 後続艇が回航して行くも, シーズン初めてのレースで練習不足のためか, 強風のためか, トラブルが目立っているが, 我々は幸いにも大したトラブルもなかった。これも2月後半からの寒さに耐えながらのトレーニングのおかげか, 「先週の雪の中のレースに比べれば, 今日はまだまし」とのクルーの声に, 全員元気いっぱい。

レース後半に入って風は増々強くなってきた。レースは, 上マーク回航の順位で終始した。最終レグでは〈マーク〉がフィニッシュ寸前にゼノアを破いてしまい, メインのみでフィニッシュして行くのが見える。我々も〈マーク〉に遅れること数分, やっとフィニッシュする。風はおさまる気配はなく, あい変わらず強く, それぞれの判断でマリーナに帰る艇もあった。我々も鳥影にブランケットを求め, 昼食とする。

第2レースを待つ。レース参加の意思艇は, 〈ホライズン〉, 〈トモエリカ〉, 〈オセアニッド〉, 〈ルーシー〉の4艇のみ。コミッティー判断で, 馬草ブイ往復で第

### 第3回東海チャンピオンレース・フリート対抗レース成績表

3月18日~3月20日

フリート	艇名	TCF	第1レース (オリンピック)			第2レース (オリンピック)			第3レース (野島レース)			るい計		フリート別	
			所要時間 修正時間	順位	得点	所要時間 修正時間	順位	得点	所要時間 修正時間	順位	得点	得点	順位	得点	順位
碧南	ホライズンV	0.7364	3:05:35 2:16:39	6	5	2:13:40 1:38:25	2	9	5:20:24 3:55:56	①	15 <sup>+</sup> <sub>+</sub>	29 <sup>+</sup> <sub>+</sub>	2	32 <sup>+</sup> <sub>+</sub>	2
	アヤIII		DNF		1	DNS	1	DNS			1 <sup>+</sup> <sub>+</sub>	3 <sup>+</sup> <sub>+</sub>	10		
衣浦武豊	桃太郎	0.7600	2:59:35 2:16:29	5	6	DNS	1	DNS			1 <sup>+</sup> <sub>+</sub>	8 <sup>+</sup> <sub>+</sub>	6	18 <sup>+</sup> <sub>+</sub>	3
	丸玉丸	0.7844	3:04:52 2:25:00	8	3	DNS	1	DNS			1 <sup>+</sup> <sub>+</sub>	5 <sup>+</sup> <sub>+</sub>	8		
	飛鳥II	0.7121	3:40:46 2:37:12	9	2	DNS	1	DNS			1 <sup>+</sup> <sub>+</sub>	4 <sup>+</sup> <sub>+</sub>	9		
幡豆	ナルミVI	0.7364	2:55:27 2:09:12	2	9	DNS	1	5:22:37 3:57:34	2	13 <sup>+</sup> <sub>+</sub>	23 <sup>+</sup> <sub>+</sub>	3	62 <sup>+</sup> <sub>+</sub>	①	
	オセアニッドEX	0.7290	3:17:48 2:24:11	7	4	DNF	1	DNS			1 <sup>+</sup> <sub>+</sub>	6 <sup>+</sup> <sub>+</sub>			7
	スーパールーシー	0.7312	2:48:49 2:03:19	①	10 <sup>+</sup>	2:04:27 1:30:59	1	10 <sup>+</sup>	5:25:06 3:57:47	3	12	32 <sup>+</sup> <sub>+</sub>			①
衣浦富貴	マーク	0.8122	2:44:50 2:13:52	4	7	DNS	1	5:01:14 4:04:39	4	10 <sup>+</sup> <sub>+</sub>	18 <sup>+</sup> <sub>+</sub>	4	18 <sup>+</sup> <sub>+</sub>	3	
三河湾	トモエリカV	0.7364	2:59:25 2:12:07	3	8	DNF	1	DNS			1 <sup>+</sup> <sub>+</sub>	10 <sup>+</sup> <sub>+</sub>	5	10 <sup>+</sup> <sub>+</sub>	5

2レースと決定する。

この風の中、スピンスターとなり、スタート後、豪快なセーリングとなるも、後ろを見ると〈オセアニッド〉がデスマスト、その近くで〈トモエリカ〉がブローチングをしている。その数分後には、我が艇もブローチングでスピン回収することになる。

三河湾という湾内での活動が中心ということがすべての原因ではないかもしれないが、強風で波の悪い状況下でのトレーニングが不足であるのを感じたレースであった。

天候は、19日には今冬42日目という降雪を記録し、翌20日の野島レースの波乱を暗示しているようであった。この42日という降雪は名古屋の記録だそうである。

当日にはこの雪まじりの強風もおさまり、曇天の空の下、スタート。一路生田ブイ、野島をめざす。今日はメンバーの半数近くが仕事のために、メンバー集めに苦労させられ、今年からメンバーに加わった新人もレース初参加となる。



第1マークからサイドへ向かう〈スーパールーシー〉(中央)

レースは、前日の疲労のためか、2日酔いのためか、修正でやっと3位に入賞。この時期のロングレースは寒さとの闘いでもあった。

スプリングシリーズ優勝という名誉を頂きましたが、これにあきることなく、年末には年間優勝のカップを手に忘年会を開く決意で、この一年、メンバー一同頑張りますのでよろしく。

最後になりましたが、寒い日、一日中コミッティーとしてがんばって下さった皆さんにお礼申し上げます。

## '84年 野島レース

〈ホライズンV〉 邨瀬 愛彦

日産マリーナ東海を0720に出航。3月も半ばを過ぎたというのに、ティラーを取る手も、ほほに当たる風も、春はまだまだといった冷たさである。

一昨日に行われた東海支部フリート対抗は強風で、デスマスト、その他のトラブルを起こした艇もあった。そのため出艇はエントリーより若干少ないようである。我が〈ホライズン〉も、伸びてガラガラしたサイドスティに気づき、ターンバックルを締めながらスタート海面に向かうありさまである。

0800ジャストスタート。NO1ヘビー、フルメイン、クローズドにて生田ブイをめざす。一昨日デスマストの瞬間を目撃したクルー全員は、ライフジャケットは当然、完全武装であるが、今のところ順風で波も悪くない。

生田ブイは、岸へ突っ込んだ〈朝鳥〉(DUB37)がトッ

### 野島レース成績表

スタート：3月20日0800 タイムリミット：3月20日1800  
マイル数：30マイル

レース委員長 中村 孝

クラス	艇名	セールNo.	艇種	TCF	野島 回航所要時間	所要時間	修正時間	順位	
								総合	クラス
II	美濃	2080	FAR 110	0.8186	2:45	5:28:50	4:29:10	10	4
	セレーネIII	2962	FAR 34	0.8230	2:30	5:15:15	4:19:27	9	3
	マーク	2634	HOL 41	0.8122	2:15	5:01:14	4:04:39	6	2
III	朝鳥	2477	DOU 37	0.7863	2:15	5:08:32	4:02:35	5	①
IV	リップパーシャーク	2437	DOV 33	0.7448		DNS			
	うずしおII	2780	NAK 33	0.7610		DNS			
V	ナルミ	3225	YOK 31	0.7364	2:20	5:22:37	3:57:34	②	②
	ホライズンV	2500	YOK 31	0.7364	2:30	5:20:24	3:55:56	①	①
	ジャストV	3203	YOK 31	0.7354	2:40	5:33:51	4:05:30	7	5
	長良	3022	NAK 31	0.7258	2:40	5:39:47	4:06:36	8	6
	フローレス	3125	YOK 31	0.7364	2:31	5:25:19	3:59:33	4	4
	スーパールーシー	3255	TAK 30	0.7312	2:26	5:25:06	3:57:42	③	3

プ回航。(ホライズン)は(マーク)(旧トーゴ)に次いで3番手で回航した。しかし、すぐ後ろに(ナルミ)(YOK31), (スーパールーシー)(TAK40)などが続き、気のぬけないレース展開である。角石灯台回航前にスピニアップ。前方では(マーク)が(朝鳥)をかわしたようである。(マーク)はフリーではさすがに速い!

日間賀島をかわすと、知多半島のブランケットをぬけたのか、風速計は20ノットを超え、波も大きい。ローリング気味ながら野島へすっ飛んで行く。すぐ後ろの

(ナルミ)がスピングアウン! 「(ナルミ)が降ろしたぞ、降ろしたぞ」と騒ぎながら「ジャイブ」。3番手で野島回航。その後(セレーネ)(FAR11m)にフリーで抜かれるも、他は何とか制して4位フィニッシュ。

今年は春から縁起がよい! 寒さも吹っ飛ぶ総合優勝。そして今回は、2位には(ナルミ), 3位は(スーパールーシー)とハーフトンクラスが上位を占めた。

寒い中、コミッティーの皆さん、ご苦労様でした。

# 初島弥生レース

帆走委員長 土岐修平  
諸磯フリート

レース前日、コミッティーを支援する成蹊大学の桃李へ行き天気図を見て、レース時では、北東の風から一時風が弱くなり、微風のレースになるのではないかと

と予想した。それは当日の低気圧が九州の南部にあり、一時前線が通過するが、その後、気圧線がゆるく、風力が弱まると思ったからである。それまで風力は強く、

3月31日 1100スタート

## 初島弥生レース成績表

帆走委員長 土岐修平

クラス 順位	セール 番号	艇名	TYPE	初島回航	フィニッシュ タイム	着順	所要時間	T C F	修正時間	総合 順位
A ①	2220	SHINKIRO	CAS37	1640	20:29'06"	3	9:29'06"	0.7863	7:27'29"	①
②	2857	HAKUGEI III	IKE34	1620	20:59'21"	7	9:59'21"	0.7580	7:34'18"	3
③	3295	ASAMA	YAM38	1620	20:34'31"	4	9:34'31"	0.7967	7:37'43"	4
4	2999	LAZY ALBATROSS	TAK40	1615	20:24'25"	1	9:24'25"	0.8114	7:37'58"	5
5	2640	SEIKAIHA	KIH33	1640	21:07'49"	10	10:07'49"	0.7580	7:40'44"	6
6	3215	SEA LION III	KIH34	1625	21:00'07"	8	10:00'07"	0.7689	7:41'26"	7
7	3050	BLUE NOTE II	ITO34	1620	21:07'20"	9	10:07'20"	0.7620	7:42'47"	8
8	3020	COAST GUARD	YOK32	1605	21:28'48"	13	10:28'48"	0.7406	7:45'41"	9
9	3044	MRS.MEDAUSEA V	TAK33	1630	21:21'11"	12	10:21'11"	0.7560	7:49'37"	11
10	3031	SUPER SUNBIRD	YAM42	1620	20:27'40"	2	9:27'40"	0.8257	7:48'43"	12
11	3220	KARASU	TAK40	1630	20:42'47"	6	9:42'47"	0.8132	7:53'55"	14
12	2112	FUJI III	FRE46	1620	20:36'54"	5	9:36'54"	0.8567	8:14'14"	21
	2299	BIG APPLE	HOL44		R.E.T.					
B ①	3306	RIPPLE II	YOK31	1632	21:08'23"	11	10:08'23"	0.7364	7:28'01"	2
②	3280	LEPTON TURBO	KAN21	1635	22:39'02"	21	11:39'02"	0.6662	7:45'42"	10
③	2182	KERONIA	DOU30	1630	21:52'02"	15	10:52'02"	0.7248	7:52'36"	13
4	610	HISHIYAKAKU	WAT36	1634	21:48'09"	14	10:48'09"	0.7343	7:55'56"	15
5	3055	SAMOA V	U31	1625	21:53'03"	16	10:53'03"	0.7322	7:58'10"	16
6	3277	MINX	U28	1640	22:10'58"	17	11:10'58"	0.7226	8:04'50"	17
7	3088	BUM BLU BEE III	YAM30	1630	22:04'09"	19	11:04'09"	0.7343	8:07'41"	18
8	2954	ALPHA			22:05'31"	18	11:05'31"	0.7343	8:08'41"	19
9	2234	TOHRI II	DOU30	1630	22:22'21"	20	11:22'21"	0.7215	8:12'19"	20
	2513	BLUE PULSAR	HAY19		D.N.F					

●総合賞 初島シルバーカップ SINKIRO

●グループ賞

Aグループ AGP初島杯 ①SINKIRO

②HAKUGEI III

③ASAMA

Bグループ BGP初島杯 ①RIPPLE II

②LEPTON TURBO

③KERONIA

●クラス賞(サケカップ)

I ①FUJI III

III ①SINKIRO

V ①RIPPLE II

VI ①LEPTON TURBO

II ①LAZY ALBATROSS

IV ①SEIKAIHA

②KERONIA

②SEALION III

③HISHIYAKAKU

リギンが風に鳴いていたが、夜半にはおさまった。

一夜明けてレース当日、エントリーは23艇で、例年より艇数が減った。これは例年より冬が長く、艇自体の準備が遅れ、エントリーまでいかなかった艇が多かったのではないと思われる、残念に思った。

今回、コミッティーを務めるのは諸磯フリートで、委員長の土岐修平と、フリートキャプテンの名物世話人である副委員長の川久保史郎さん、〈BUNBUN〉のスキッパーの日江井俊二さん、桃李グループの2年生の中川君、それと小野さんら1年生諸君の3人で、チームワークが良くまとまった。

3月31日午前0730より受付を行った。0830からは艇長会議を行い、海上保安庁よりの注意事項などを渡し、レース中の事故についての注意について話した。

午前1100ジャスト、定刻通りにスタートする。風向は北北東、風力は3で、スピンスターでオールフェア。艇群はアウトサイドマーク付近とコミッティーボートと二手に分かれてスタートする。

スタート後、シーボニアに戻ってあとの仕事にかかったが、午後になって気温が急激に上がり、半袖になっても暑いほどであった。しかし風はスタート時よりも強くなり、シーボニアのシュロの葉をゆらす。午後0400ごろからは、今までの夏のような気温が急激に低くなり、雨がふり始める。この様子だとフィニッシュはかなり早くなると思い、フィニッシュ準備を早めに始めた。

午後0530にコミッティーボートをシーボニア沖に出す。そのころから雨が斜めに降り、気温は一段と下がる。レースをやっている人達も帰りのクローズホールドで寒さに震えているのではないと思った。風が一段と強くなった1800ごろに、中学生の息子さんが参加されている艇のお母さんよりレース本部に電話が入り、フィニッシュはまだかとのお問い合わせがあった。

夕方0730にクラスⅦの〈ブルーパルサー〉のスキッパーより電話があり、リタイヤーとの申請があった。状況を聞くと、初島への途中で風がなくなり、初島を再スタートのかたちで全艇ダンゴ状態で回航したが、その後、風がきつくなり、熱海へ入港したとのことであった。

かなりハードなレースを各艇やっていることだろうと思った。当初の予定より遅くはなると思ったが、ファーストホーム艇は0700から0730ぐらいのところでフィニッシュかと待ち望む。その間いろいろのところから“フィニッシュはまだか”との電話が続く。気温が昼間の暖かさから冬の寒さになり、雨も強くなって身体が冷える。

ようやく予想より約小1時間遅く航海灯が沖に見えるとコミッティーボートより連絡が入る。

午後0824、健闘して〈レージャーアルパトロス〉がファーストホームをかざる。その後、続々と艇が入って来て、コミッティーボートとの交信が忙しくなる。

修正時間を計算機で計算している際中にも、オイルスキンの身をつつんだ人達が帰着申告に来て、自艇の成績がどうであったか、成績表に見入っていた。

ここで讀みたいのは〈ビッグアップル〉である。初島からフィニッシュまでの途中で、バッテリー充電のためエンジンを始動させて、40秒ほどたったところでギアが入っていたことがわかり、リタイヤー申告をしてきた。心中残念であると思うが、スキッパーおよびクルー諸君のシーマンシップある勇氣に敬意を表したい。

一時、コミッティーボートが走錨し流され、オンザロック寸前になるのを処理しながらフィニッシュの受け入れを続け、最後のクラスⅦの〈レプトンターボ〉のフィニッシュ午後0831をもってレースを終了した。トップ艇から最終艇までの差は約2時間であった。

関係各位のご協力に対して誌上をもって感謝致します。

\*

## 問い合わせ続々!

# ALL JAPAN ATAMI OFFSHORE CHAMPION SERIES '84

10月10日～10月20日

どんな艇が出てくるのか、どこがチームを組んで出てくるのか、あそこの船よりうちとこの船の方が早いで……といった問い合わせが事務局へ多数寄せられ、その熱気に事務局はパンク寸前。あなたも、ぜひ、熱海に参加しましょう。

## 電話級無線通信士

### 受験申請書受付のお知らせ

通信委員会

8月に施行される電話級無線通信士国家試験受験申請書の受付は6月中ごろ締切の予定です。詳しい期日は各地方電波監理局検定課またはNORC事務局にお問い合わせ下さい。なお、受験申請書が提出受理されていませんと受験できません。ご注意下さい。

受験勉強会は6月中ごろから開講する予定です。NORC事務局(☎03-504-1911)へお申し込み下さい。

## 中沢弘氏を偲ぶ会



大勢の海の仲間達による祭壇への献花  
(レストランキャビンにて)

去る3月25日(日)、サントピアマリーナの前常務取締役・故中沢弘氏を偲ぶ会が厳かに催されました。中沢氏はサントピアマリーナ創設当時からのハーバースターとして活躍し、マリーナの発展と日本

のヨット界の発展に大いに尽力を注がれましたが、去る2月12日、吐血による心不全のため、マリーナの社宅で亡くられました。

葬儀は2月14日、家族、社員ならびに関係者により地元の本妙寺で行われました。何しろ突然の事故死のため連絡が行き届かず、せめてヨットマンの最後にふさわしく、大勢のヨットマンの見守り中の水葬をと、サントピアヨットクラブの主催で上記の偲ぶ会を考案致しました。

会には秋田 NORC 内海支部長を始め、遠くは関東より駆けつけた方も含めて100名余りが出席されました。午前中のヨットよりの遺品の水葬、花輪の献花、引き続き、各艇より思い思いの花束の献花を行い、午後よりマリーナレストランで簡単なパーティ形式で偲ぶ会を催し、氏の思い出話で午後のひとときを過ごしました。

この会に出席されました方には、この誌面を借りまして厚くお礼申し上げます。

サントピアヨットクラブ偲ぶ会・運営委員会

## 船舶振興会補助事業

## 第7回沖縄～東京レース

主催 社団法人日本外洋帆走協会  
後援 運輸省・沖縄県・神奈川県・那覇市・三浦市・航海訓練所・沖縄県・観光開発公社・朝日新聞社・沖縄タイムズ社  
協力 沖縄県ヨット連盟 全日空  
スタート 1984年4月30日(月) 1200  
コース 沖縄県那覇港外より神奈川県三浦市小網代湾口まで(830哩)

参加資格 IOR MARK-III A による有効なレーティングを所有し、かつ、ORC 特別規定一カテゴリー I および NORC 設備規定一カテゴリー A ならびに沖縄～東京レース特別規定による安全検査に合格しているレーティング21.0 ft.～70.0 ft. の艇。船舶局(2MHz帯無線機)が設置されている艇。各国の公認ヨットクラブに登録されている艇でレース委員会が参加を認めたもの。

賞 総理大臣杯 航海訓練所長杯  
運輸大臣杯 朝日新聞社杯  
海上保安庁長官杯 沖縄タイムズ社杯  
沖縄県知事杯 観光開発公社理事長杯  
アドミラル東郷杯 NORC 会長杯  
コンテッサ・トロフィー ベスト・ナビゲーター賞(武田

氏寄贈) ベスト・クック賞(名和氏寄贈)  
サケカップ 各クラス入賞艇。

### 実行委員会

委員長 篠原要  
副委員長 城間祥行 新城哲男 坂西正明  
委員 東江正喜 大城晃 河村次郎 平良健  
玉城勉 真久田正 宮里維清 柳生徹夫  
山城洋祐 仲里良和 儀間修 桃原秀明  
保井明博

### エントリー・リスト

クラス	セールNo.	艇名	Type	R.F.	T.M.F.	オーナー名	
I	2112	FUJI III	FRE 46	35.6	1.1535	藤本達雄	
	II	2312	NACHI VIII	DOU 42	32.5	1.1147	二村昭治
		2455	MARGE	DOU 42	32.7	1.1173	紫田邦敏
III	2558	VIND-7	DOU 43	32.8	1.1186	小林義彦	
	2339	丸玉丸	DOU 37	25.7	1.0188	玉山聖三	
	3177	HATSU	YOK 38	27.7	1.0488	日下正典	
IV	3284	VANGUARD	V&O 36	26.2	1.0264	末松 明	
	1604	風小町	NOL 34	25.5	1.0157	佐野康夫	
	2510	TIDA	U 35	24.9	1.0063	伊志領亮	
	3044	Mrs.MEDAUSAE V	TAK 33	24.6	1.0016	木原和喜	
	3050	BLUE NOTE II	ITO 34	25.2	1.0110	小貫収一	
	3188	SWEET BRONDY II	YOK 32	23.2	0.9788	八木 宏	
	3331	RIVAGE	NAK 34	25.4	1.0142	広畑顕一	



## NORC協会ニュース

## 日本外洋帆走協会役員名簿

(昭和59～60年度)※(自):自宅、(勤):勤務先

## 名誉会長

古屋徳兵衛 〒107 東京都港区赤坂7-5-1-806  
☎03-585-9726(自), 03-561-2600(勤)

## 理事・会長

石原慎太郎 〒145 東京都大田区田園調布1丁目44-2  
☎03-722-1138(自), 03-508-7167(勤)

## 理事・副会長

秋田博正 〒659 兵庫県芦屋市山手町31-26  
☎0797-22-2324(自), 0798-22-2701(勤)

## 大儀見薫

〒259-01 神奈川県中郡二宮町山西45  
☎0463-72-3116(自), 03-989-5314(勤)

## 理事・専務理事

清水栄太郎 〒112 東京都文京区音羽2-1-20  
☎03-941-7368(自), 03-941-7171(勤)

## 理事・常務理事

嶋田武夫 〒248 鎌倉市腰越3丁目32-17  
☎0467-32-4883(自), 03-284-5892(勤)

## 河村次郎

〒247 横浜市戸塚区小菅谷町2804-536  
☎045-891-2177(自), 03-504-1911(勤)

## 理事

石井正行 〒236 横浜市金沢区片吹113-3  
☎045-783-2166(自), 0462-28-8121(勤)

## 今岡又彦

〒250 藤沢市鶴沼海岸5-8-23-101  
☎0466-34-1727(自), 03-404-5311(勤)

## 塩路一郎

〒142 東京都品川区荏原2-16-1  
☎03-782-5275(自), 03-434-4721(勤)

## 篠原 要

〒233 横浜市港南区港南台6丁目  
1-43-501  
☎045-831-2370(自), 03-382-4422

## 武市 俊

〒336 浦和市原山2丁目33-8-7-404  
☎0488-82-5598(自), 0482-25-1753

## 名当英臣

〒251 藤沢市藤沢2481  
☎0466-81-8290(自), 03-409-7551(勤)

## 林 賢之輔

〒240-01 横須賀市秋谷1丁目1-29  
☎0468-57-5336(自, 勤)

## 山崎達光

〒112 東京都文京区小日向2-21-6  
☎03-941-0757(自), 03-668-0551(勤)

## 横山 晃

〒235 横浜市磯子区岡村町4丁目4-18-19  
☎045-761-2964(自), 045-651-0607(勤)

## 渡辺修治

〒240-01 神奈川県三浦郡葉山町堀内588  
☎0468-75-0709(自),  
03-543-5523内8378(勤)

## 塩川孝二

〒416 静岡県富士市松本249-1  
☎0545-61-4457(自), 0545-64-2262(勤)

## 林 政幸

〒410 沼津市大岡1454  
☎0559-63-3185(自), 0559-21-2233(勤)

## 都築勝利

〒444-13 愛知県高浜市吉浜町小池50  
☎0566-53-3484(自), 052-241-4121(勤)

## 市川 勇

〒443 愛知県蒲郡市平田町下六反田36-2  
☎0533-69-4359(自), 0533-68-3086(勤)

## 加藤蔵男

〒512 三重県四日市市茂福176-6  
☎0593-64-2256(自), 0593-64-2255(勤)

## 小林義彦

〒475 愛知県半田市新居町3丁目45  
☎0569-28-0025(自), 0569-28-0811(勤)

## 秋山福夫

〒607 京都市山科区川田御出町33  
☎075-592-0415(自, 勤)

## 三井祥功

〒601 京都市南区東九条北烏丸町25  
☎075-661-0325(自), 075-592-3225(勤)

## 貴伝名一良

〒673-01 兵庫県明石市二見町西二見  
2059-5  
☎07894-2-1947(自), 0794-22-2232(勤)

## 山田東吾

〒674 兵庫県明石市大久保町高丘6-2-19  
☎078-935-7675(自), 078-967-1202(勤)

## 松木 哲

〒659 兵庫県芦屋市潮見町3-4-4  
☎0797-32-3834(自), 078-453-2332(勤)

## 岩田行史

〒733 広島市己斐中2丁目3-10  
☎0822-71-1642(自), 08295-6-1131(勤)

## 福元征四郎

〒815 福岡市南区多賀1丁目2-18  
☎092-512-3617(自), 092-522-0760(勤)

## 城間祥行

〒900 那覇市泉崎1-11-2  
☎0988-62-8744(自), 0988-67-2117(勤)

## 監事

飯島元次 〒153 東京都目黒区東山2丁目7-12  
☎03-711-2233(自), 03-281-3255(勤)

## 平松栄一

〒158 東京都世田谷区尾山台1-11-18  
☎03-701-3067(自), 03-661-0880(勤)

## 専門委員会委員名簿

※(自):自宅、(勤):勤務先

## 1. 総務委員会(および支部長)

## 委員長

清水栄太郎 〒112 東京都文京区音羽2-1-20  
☎03-941-7368(自), 03-941-7171(勤)

## 委員

(関東支部長)  
大儀見 薫 〒259-01 神奈川県中郡二宮町山西45  
☎0463-72-3116(自), 03-989-5314(勤)

嶋田武夫 〒248 神奈川県鎌倉市腰越3-32-17  
☎0467-32-4883(自), 03-284-5892(勤)

河村次郎 〒247 横浜市戸塚区小菅谷町2804-536  
☎045-891-2177(自), 03-504-1911(勤)

(駿河湾支部長)  
塩川孝二 〒416 静岡県富士市松本249-1  
☎0545-61-4457(自), 0545-64-2262(勤)

## (東海支部長)

小林義彦 〒475 愛知県半田市新居町3-45  
0569-28-0025(自), 0569-28-0811(勤)

## (近畿北陸支部長)

三井祥功 〒601 京都市南区東九条北烏丸町25  
☎075-661-0325(自), 075-592-3225(勤)

## (内海支部長)

秋田博正 〒659 兵庫県芦屋市山手町31-26  
☎0797-22-2324(自), 0798-22-2701(勤)

## (西内海支部長)

岩田行史 〒733 広島市己斐中2-3-10  
☎0822-71-1642(自), 08295-6-1131(勤)

## (玄海支部長)

福元征四郎 〒815 福岡市南区多賀1-2-18  
☎092-512-3617(自), 092-522-0760(勤)

## (沖縄支部長)

城間祥行 〒900 那覇市泉崎1-11-2  
☎0988-62-8744(自), 0988-67-2117(勤)

## (津軽海峡支部長)

米山義勝 〒042 函館市湯川町1-25-23  
☎0138-57-9098(自), 0138-59-1234(勤)

## (北海道支部長)

城丸 隆 〒062 札幌市豊平区福住1条1丁目  
15-23  
☎011-852-5778(自), 011-231-0015(勤)

## 2. 国際小委員会

## 委員長

大儀見 薫 〒259-01 神奈川県中部二宮町山西45  
☎0463-72-3116(自), 03-989-5314(勤)

## 委員

清水栄太郎 〒112 東京都文京区音羽2-1-20  
☎03-941-7368(自), 03-941-7171(勤)

武市 俊 〒336 浦和市原山2-33-8-7-404  
☎0488-82-5598(自), 0482-25-1753(勤)

小林義彦 〒475 愛知県半田市新居町3-45  
☎0569-28-0025(自), 0569-28-0811(勤)

山田東吾 〒674 兵庫県明石市大久保町高丘6-2-19  
☎078-935-7675(自), 078-967-1202(勤)

## 3. 会報小委員会

## 委員長

大儀見 薫 〒259-01 神奈川県中郡二宮町山西45  
☎0463-72-3116(自), 03-989-5314(勤)

## 委員

高坂武雄 〒223 横浜市港北区新吉田町3511  
☎045-591-6522(自),  
03-764-2601~8(勤)

蘭 信雄 〒104 東京都中央区八丁堀2-30-17  
☎03-393-2738(自), 03-552-3881~5(勤)

服部一良 〒231 横浜市中区仲尾台81

## 山手マンション705

☎045-662-6029(自), 03-212-0321(勤)

依田 渡 〒150 東京都渋谷区神宮前2-13-7  
日興パレス607

☎03-497-0453(勤)

若井あゆ子 〒132 東京都江戸川区中葛西3-24-4  
タキノハイツ201

☎03-686-6179(自)

山田幸雄 〒168 東京都杉並区久我山5-16-2

☎03-332-7332(自), 03-403-0251(勤)

## 支部会報委員長

## (駿河)

秋山泰広 〒417 静岡県富士市船津468  
☎0545-34-1148(自), 0559-24-3607(勤)

## (東海)

富川則之 〒457 名古屋市南区豊田町6の割  
第2南陽ハイツ1004  
☎052-692-6352(自), 0568-73-7101(勤)

## (近北)

三井祥功 〒601 京都市南区東九条北烏丸町25  
☎075-661-0325(自), 075-592-3225(勤)

## (内海)

浮田尚子 〒581 大阪府八尾市東太子2-7-8  
☎0729-22-6127(自),  
06-401-1221内669(勤)

## (西内)

金井準一 〒734 広島市向洋本町1-36  
☎0822-82-0173(自), 0822-37-3308(勤)

## (玄海)

堀田総八郎 〒814 福岡市西区交丘3-10-38  
☎092-863-9389(自), 092-721-1234(勤)

## (北海)

舟木幹也 〒069-01 北海道江別市文京台東町26-5  
☎01138-6-5802(自), 011-251-6236(勤)

## 4. 財務委員会

## 委員長

児玉万平 〒253 神奈川県茅ヶ崎市矢畑763-7  
☎0467-86-2508(自), 03-502-0526(勤)

## 委員

名当英臣 〒251 神奈川県藤沢市藤沢2481  
☎0466-81-8290(自), 03-409-7551(勤)

名和幸夫 〒154 東京都世田谷区奥沢6-6-10  
☎03-704-2371(自), 03-793-0556(勤)

鳥山睦郎 〒113 東京都文京区湯島3-28-12  
☎03-836-3574(自), 03-822-3151(勤)

石川光男 〒222 横浜市港北区篠原北2-9-7  
☎045-401-1676(自), 03-233-1172(勤)

中上川貞次郎 〒142 東京都品川区豊町2-3-11  
☎03-786-8558(自), 044-511-3111(勤)

## 5. 海事思想普及委員会

## 委員長

今岡又彦 〒251 神奈川県藤沢市鶴沼海岸  
5-8-23-101  
☎0466-34-1727(自), 03-404-5311(勤)

## 委員

内藤清朗 〒249 神奈川県逗子市逗子7-3-49  
☎0468-73-4972(自), 03-553-7811(勤)

長江博人 〒271 千葉県松戸市根本72  
高橋マンション403  
☎0473-61-2531(自), 03-452-5511(勤)

兵藤 茂 〒247 神奈川県鎌倉市岡本120  
☎0467-46-3819(自), 03-772-8725(勤)

芳賀治一 〒236 横浜市金沢区釜利谷町3827  
☎045-781-2664(自), 03-492-2088(勤)

関山光二 〒251 神奈川県藤沢市辻堂西海岸  
1-1-20-502  
☎0466-34-6409(自), 03-544-7374(勤)

吉田晴彦 〒248 神奈川県鎌倉市七里ヶ浜東4-21-1  
☎0467-31-0717(自), 03-543-5523(勤)

山本孝文 〒154 東京都世田谷区上馬2-26-6-504  
☎03-418-2906(自), 03-662-3666(勤)

松浦 剛 〒142 東京都品川区戸越2-9-3高橋方  
☎03-782-9638(自), 03-493-8864(勤)

坂西正明 〒152 東京都目黒区碑文谷1-25-6-105  
☎03-712-5209(自)

中西健二 〒246 神奈川県逗子市山の根3-15-30  
☎0468-73-7880(自), 03-835-5203(勤)

## 支部海事思想普及委員長

## (東海)

森 章 〒464 名古屋市千種区内山町3-2-17  
☎052-733-1688(自), 052-741-1688(勤)

## (西内)

田中敬一 〒738 広島県佐伯郡廿日市町地御前田屋  
☎0829-396-1750(自), 0822-47-5540(勤)

## (北海)

野村輝之 〒061-21 札幌市南区柏ヶ丘1-7-1-105  
☎011-581-3021(自), 011-214-4523(勤)

## 6. 安全委員会

## 委員長

長江博人 〒271 千葉県松戸市根本72  
高橋マンション403  
☎0473-61-2531(自), 03-452-5551(勤)

## 委員

児玉万平 〒253 神奈川県茅ヶ崎市矢畑763-7  
☎0467-86-2508(自), 03-502-0526(勤)

薬師寺千代美 〒239 神奈川県横須賀市鴨居3-957  
☎0468-43-2051(自), 0468-82-1212(勤)

伊藤静美 〒251 神奈川県藤沢市鶴沼松ヶ岡1-3-2  
☎0466-22-8607(自), 0467-74-1800(勤)

松原康孝 〒238 神奈川県横須賀市佐島1457  
佐島マリーナ

☎0468-56-0141

高井 理 〒215 川崎市多摩区多摩美2-5-4  
☎044-966-7423

佐藤静治 〒251 神奈川県藤沢市辻堂西海岸  
2-9-1-401

☎0466-34-6499(自),  
0466-25-1111内536(勤)

加藤祐一郎 〒249 神奈川県逗子市逗子5-4-31  
☎0468-73-1393(自), 03-503-7986(勤)

村田和弥 〒244 横浜市戸塚区中田町926きよし荘  
☎03-436-5438(勤)

松浦 剛 〒142 東京都品川区戸越2-9-3高橋方  
☎03-782-9638(自), 03-493-8864(勤)

才田秀人 〒231 横浜市中区鷺山102 シオン荘102  
☎045-662-7455(自), 03-431-2633(勤)

岡芹寛和 〒132 東京都江戸川区中葛西3-6-10  
エメラルド105

☎03-504-1911

## 支部安全委員長

## (関東)

長江博人 前記に同じ

## (駿河)

望月 誠 〒420 静岡県南安倍3-15-30  
☎0542-85-7614(自)

## (東海)

沓名洋一 〒444-12 愛知県安城市根崎町北根132  
☎0566-92-0835(自), 0566-75-2000(勤)

## (近北)

上羽正男 〒606 京都市左京区北白川上別当町18  
☎075-791-5172(自)

## (内海)

飯塚功二 〒656 兵庫県洲本市古茂江1276  
サントピア

☎07992-4-0401

## (西内)

藤川龍生 〒734 広島市南区北大河町26-14  
☎082-251-1748(自), 0822-49-9123(勤)

## (玄海)

有吉伸二 〒815 福岡市南区長丘4-7-15  
☎092-512-2745(自), 092-771-8800(勤)

## (北海)

一鉄安司 〒047 小樽市錦町17-3  
☎0134-24-0135(自), 011-222-3761(勤)

## 7. 計測委員会 (○印はIORメジャー)

## 委員長

林賢之輔 〒240-01 横須賀市秋谷1-1-29  
☎0468-57-5336

## 副委員長

大橋且典 〒136 東京都江東区南砂2-3-7-1430  
☎03-646-9240(自), 03-552-1750(勤)

## 委員

中村 真 〒240 横浜市保土谷区上星川町291  
☎045-381-3478(自), 03-262-4631(勤)

沢地 繁 〒154 東京都世田谷区上馬2-26-6-1201  
チサンマンション

☎03-421-1251

高橋太郎 〒221 横浜市神奈川区浦島町5-16-611  
☎045-453-5914(自), 03-543-5523(勤)

桜井常雄 〒247 横浜市戸塚区小菅谷町2804-437  
☎045-892-3829(自), 03-486-7241(勤)

松崎孝男 〒253 神奈川県茅ヶ崎市南湖3-2-20  
☎0467-85-9214(自), 03-486-7241(勤)

○伊藤静美 〒251 神奈川県藤沢市鶴沼松岡1-2-26  
☎0466-22-8607(自), 0467-74-1800(勤)

○木内安夫 〒410-21 静岡県田方郡菰山町  
奈古谷1172

☎05594-9-0559(自), 0559-75-7020(勤)

○花川幸一郎 〒509-51 岐阜県土岐市泉ヶ丘町5-60  
☎05725-5-3599(自), 052-582-5511(勤)

○飯塚功二 〒656 兵庫県洲本市字原1565  
☎07992-2-9311(自), 07992-4-0401(勤)

○田中龍男 〒592 大阪府堺市浜寺石津町西5-10-17  
☎0722-65-6527(自), 0722-62-8651(勤)

○斉藤 彰 〒816 福岡県大野城市緑ヶ丘4-3-12  
☎092-596-2846(自), 092-801-5151(勤)

## 支部計測委員長

(関東)

伊藤静美 前記に同じ

(駿河)

大坪六男 〒420 静岡県瀬名2554-1  
☎0542-61-1269(自), 0543-45-0060(勤)

(東海)

大矢 隆 〒453 名古屋市中村区下中村町1-101  
☎052-471-0432(自), 052-241-8111(勤)

(近北)

田中康一郎 〒611 京都府宇治市広野町宮谷56-64  
☎0774-44-3871(自), 075-921-0311(勤)

(北陸)

増山 隆 〒921 金沢市四十万町北イ42  
☎0762-98-2096(自),  
0762-48-1100内261

(内海)

飯塚功二 前記に同じ

(西内海)

松本明雄 〒730 広島市東区牛田早稲田4-10-20  
牛田コーポD-702  
☎082-223-0542(自), 082-244-4655(勤)

(玄海)

大原元太 〒815 福岡市南区大橋4-21-3  
☎092-541-5006

(沖縄)

山城洋祐 〒903 那覇市首里末吉町1-187-2  
☎0988-84-8600(自),  
0988-67-0111内407(勤)

(北海道)

海老名敏男 〒047 小樽市稲穂4-12-7  
☎0134-25-4182(自), 0134-24-2333(勤)

(宮城)

白鳥 誠 〒983 仙台市中野字神明135-1  
☎0222-58-5165(自)

## 8. 技術委員会

委員長

渡辺修治 〒240-01 神奈川県三浦郡葉山町堀内588  
☎0468-75-0709(自),  
03-543-5523内8378(勤)

委員

高橋太郎 〒221 横浜市神奈川区浦島町5-16  
神奈川芙蓉ハイツ611  
☎045-453-5914(自), 03-668-7181(勤)

桜井常雄 〒247 横浜市戸塚区小菅谷町2804-437  
☎045-892-3829(自), 03-486-7241(勤)

大橋且典 〒136 東京都江東区南砂2-3-7-1430  
☎03-646-9240(自), 03-552-1750(勤)

中村 真 〒240 横浜市保土谷区上星川町291  
☎045-381-3478(自), 03-262-4631(勤)

沢地 繁 〒154 東京都世田谷区上馬2-26-6-1201  
チサンマンション

☎03-421-1251

松崎孝男 〒253 神奈川県茅ヶ崎市南湖3-2-20  
☎0467-85-9214(自), 03-486-7241(勤)

林賢之輔 〒240-01 神奈川県横須賀市秋谷1-1-29  
☎0468-57-5336(自)

## 9. 帆走委員会

委員長

武市 俊 〒336 浦和市原山3-33-8-7-404  
☎0488-82-5598(自), 0482-25-1753(勤)

副委員長

宮坂敬三 〒239 横須賀市馬堀海岸4-1-5-401  
☎0468-42-5281(自),  
045-751-1231内3077(勤)

支部帆走委員長

(関東)

佐藤和夫 〒277 千葉県柏市中央2-7-3-209  
☎03-281-5441

(駿河)

浅井一省 〒424 静岡県清水市草薙1889

☎0553-46-9602(自), 0559-63-5151  
 (東海)  
 中村 孝 〒443-01 愛知県蒲郡市形原町  
 三浦町11-3  
 ☎0533-57-4401(自), 0564-51-5911(勤)

(近北)  
 真田恒男 〒616 京都市右京区鳴滝石砂1  
 ☎075-463-8585, 075-462-0246

(内海)  
 谷川晴彦 〒590 大阪府堺市城山台1-7-11  
 ☎0722-99-1213(自), 06-372-2511(勤)

(西内)  
 佐伯敏則 〒730 広島市出島1-4-7  
 ☎082-255-3522(自)

(玄海)  
 末松 明 〒816 福岡市中央区平尾5-22-30  
 ☎092-581-9121(自)

(沖縄)  
 東江正喜 〒901-21 沖縄県浦添市沢岬955-2  
 ☎0988-77-5828(自)

(北海)  
 中山久明 〒064 札幌市中央区南7条西21  
 ☎011-561-0803(自), 011-643-4692(勤)

**関東支部帆走委員**  
**副委員長**  
 朝河 清 〒105 東京都港区虎ノ門1-24-14  
 ☎03-440-1100(自), 03-503-4781(勤)

**委員**  
 服部一良 〒231 横浜市中区仲尾台81  
 山手マンション705  
 ☎045-662-6029(自),  
 03-212-0321内6320(勤)

大村雅一 〒141 東京都品川区上大崎2-10-45-1504  
 ☎03-446-5140(自),  
 03-212-5111内21316(勤)

稲葉文則 〒413 静岡県熱海市林ヶ丘18-5  
 ☎0557-82-3492(自), 0557-81-9257(勤)

松崎義邦 〒240-01 神奈川県三浦郡葉山町  
 長柄1642-425  
 ☎0468-75-6410(自), 03-747-5292(勤)

初鹿野幸生 〒359 埼玉県所沢市北野187-4  
 ☎0429-48-0448(自), 03-402-6190(勤)

長江博人 〒271 千葉県松戸市根本70-2  
 高橋マンション403  
 ☎0473-61-2531(自), 03-452-5551(勤)

藤森紀明 〒236 横浜市金沢区町屋町21-7  
 ☎045-781-8228(自)

岡田豪三 〒235 横浜市磯子区洋光台5-6-23-401  
 ☎045-833-1369(自), 03-989-4414(勤)

小沢美弘 〒143 東京都太田区南馬込4-12-5  
 ☎03-771-8098(自), 03-263-7201(勤)

坂西正明 〒152 東京都目黒区碑文谷1-25-6-105  
 ☎03-712-5209(自)

**10. ルール委員会**  
**委員長**  
 石井正行 〒236 横浜市金沢区片吹113-3  
 ☎045-783-2166(自), 0462-28-8121(勤)

**副委員長**  
 周東英卿 〒143 東京都大田区中馬込1-2-1  
 ☎03-771-7678(自), 03-217-7766(勤)

平松栄一 〒158 東京都世田谷区尾山台1-11-18  
 ☎03-661-0880(自), 03-701-3067(勤)

**委員**  
 清水泰治 〒155 東京都世田谷区代沢2-24-3  
 ☎03-413-1888(自), 03-623-6509(勤)

鳥本洋一 〒352 埼玉県新座市新堀3-6-31  
 ☎0424-92-3379(自), 03-252-2919(勤)

三宅智久 〒244 横浜市戸塚区上飯田254  
 ☎045-802-5902(自), 03-480-1123(勤)

松崎義邦 〒240-01 神奈川県三浦郡葉山町  
 長柄1642-425  
 ☎0468-75-6410(自), 03-747-5292(勤)

大村雅一 〒141 東京都品川区上大崎2-10-45-1504  
 ☎03-446-5140(自), 03-270-9211(勤)

藤田 享 〒215 川崎市多摩区上麻生834-13  
 ☎044-966-3176(自), 03-241-3311(勤)

平松 隆 〒152 東京都目黒区自由ヶ丘1-7-8  
 アルス201  
 ☎03-724-0026(自), 03-278-4825(勤)

**支部ルール委員長**  
 (玄海)  
 谷 信明 〒814 福岡市西區城西1-1-19  
 ☎092-821-2573(自), 092-271-7431(勤)

**11. 通信委員会**  
**委員長**  
 篠原 要 〒233 横浜市港南区港南台6-1-43-501  
 ☎045-831-2370(自), 03-832-4422(勤)

**副委員長**  
 鈴木康之 〒239 横須賀市ハイランド1-40-10  
 ☎0468-48-5011(自), 03-582-0782(勤)

**委員**  
 伊藤修二 〒145 東京都大田区東雪ヶ谷2-2-1-603  
 ☎03-728-0362(自), 03-759-7111(勤)

浦辺絃一 〒249 神奈川県逗子市逗子5-1-25  
 ☎0468-73-7314(自),  
 03-465-1111内5726(勤)

大谷正彦 〒211 川崎市中原区上小田中943-3  
 ローズハイツ413  
 ☎044-733-3763(自),  
 044-777-1111内6825(勤)

坂西正明 〒152 東京都目黒区碑文谷1-25-6

☎03-712-5209

清水栄太郎 〒112 東京都文京区音羽2-1-20

☎03-997-7368(自), 03-941-7171(勤)

鈴木保夫 〒275 千葉県習志野市秋津2-4-3-706

☎0474-51-7887(自), 03-442-2961(勤)

高城秀康 〒232 横浜市南区弘明寺301

☎045-731-5369(自), 03-503-3839(勤)

前田泰明 〒111 東京都台東区清川1-13-13

☎03-873-6142(自), 03-873-6142(勤)

横沢真則 〒177 東京都練馬区谷原5-14-17

☎03-997-6036(自)

渡辺龍彦 〒226 横浜市緑区竹山4-4-10

☎045-934-3238(自),  
045-932-1231内480(勤)

## 支部通信委員長

(関東)

篠原 要 前記に同じ

(駿河)

増田隆美 〒424 静岡県焼津市中根新田121

☎0546-24-9043(自)

(東海)

榑原秋元 〒475 愛知県半田市平和町1-71

☎0569-22-6699(自), 0566-42-1531(勤)

(近北)

森井幸治 〒630 奈良市鶴舞東町1-75-102

☎0742-44-0203(自), 0727-93-2855(勤)

(内海)

近藤紘一郎 〒659 兵庫県芦屋市奥池南町12-8

☎0797-31-3821(自), 06-441-8676(勤)

(西内)

小林勝海 〒737-21 広島県安芸郡江田島町

向側18320-5

☎082-342-0035(自)

(玄海)

岩永 勇 〒819-03 福岡市西区大字田尻1052-4

☎092-806-5057(自), 092-953-2488(勤)

(沖縄)

平良 健 〒903 那覇市首里石嶺町4-202

☎0988-86-2932(自), 0988-66-2691(勤)

(北海)

田辺文彦 〒064 札幌市中央区南8条西25

旭ヶ丘グリーンハイツ705

☎011-563-4362(自)

## 12. 法政委員会

委員長

嶋田武夫 〒248 神奈川県鎌倉市腰越3-32-17

☎0467-32-4883(自), 03-284-5892(勤)

委員

松永武士 〒160 東京都新宿区西早稲田3-5-10

甘泉園ハイツ302

☎03-202-6238(自), 03-284-5527(勤)

一木正治 〒153 東京都目黒区東山3-7-6

東山マンション501

☎03-711-2022(自), 03-543-6051(勤)

中村 真 〒240 横浜市保土谷区上星川町291

☎045-381-3478(自), 03-403-7101(勤)

河村次郎 〒247 横浜市戸塚区小菅谷町2804-536

☎045-891-2177(自), 03-504-1911(勤)

## 13. 泊地対策委員会

委員長

平野喜美夫 〒248 神奈川県鎌倉市笛田1152-21

☎0467-31-1956(自),  
03-404-3311内2771(勤)

(法律顧問)

高木伸学 〒184 東京都小金井市東町5-15-7

☎0423-84-7557(自),  
03-353-8228~9(勤)

副委員長

犬塚 英 〒177 東京都練馬区石神井台5-12-10

☎03-929-6951(自), 03-364-1690(勤)

委員

羽柴宏昭 〒238 横須賀市坂本町2-24

☎0468-24-0377(自)  
0468-22-4000内2438(勤)

平林 滋 〒150 東京都渋谷区神宮前1-14-4

☎03-478-5703(自), 03-404-5411(勤)

亀井澄夫 〒248 鎌倉市大町2-4-7

☎0467-24-8204(自), 03-400-2044(勤)

山口彰夫 〒150 東京都渋谷区神宮前6-34-15

☎03-400-1206(自), 03-271-4055(勤)

矢吹秀邦 〒150 東京都渋谷区西麻布1-2-9

☎03-408-1016(自), 03-502-3021(勤)

菅原留意 〒249 逗子市久木3-10-22

☎0468-71-3962(自), 0468-61-5111(勤)

大河原孫一 〒114 東京都北区王子2-15

☎03-911-2334(自)

横沢真則 〒177 東京都練馬区谷原5-14-17

☎03-997-6036(自)

草間信二 〒192 八王子市子安町2-31-21

☎0426-42-5389(自), 0426-42-7191(勤)

種村道彦 〒130 東京都墨田区千代2-5-4

〒251 藤沢市藤沢2481

☎0466-81-8290(自), 03-409-7551(勤)

宮森和美 〒110 東京都台東区上野7-9-14

☎03-845-2400(自), 03-843-2761(勤)

平田克己 〒107 東京都港区南青山5-1-10-1205

☎03-407-6100(自), 045-662-1321(勤)

川久保史朗 〒187 小平市小川町1-823

☎0425-65-0266(自), 0423-41-3290(勤)

石川平八郎 〒194 町田市つくし野1-36-28  
☎0427-96-9362(自), 03-403-9203(勤)

藤森紀明 〒236 横浜市金沢区町屋町21-7  
☎045-781-8228(自)

竹下義紀 〒335 蕨市南町2-31-12  
☎0484-45-5045(自), 0482-53-0571(勤)

鈴木博士 〒273 船橋市宮本4-18-8-503  
☎0474-31-7085(自), 03-625-4484(勤)

石井 孝 〒272-01 千葉県葛飾郡浦安町美浜  
4-4-1004  
☎0473-53-2606(自)

支部泊地対策委員長  
(北海)

猿渡 肇 〒047-02 小樽市桂岡11-12  
☎0134-62-6515(自), 011-813-3232(勤)

関東支部フリート, キャプテン名簿  
(江ノ島)

岩田慎夫 〒248 神奈川県鎌倉市腰越5-13-24  
☎0467-32-5296(自), 0466-22-3889(勤)

(葉山)

松本富士也 〒222 横浜市港北区篠原台町38-1  
☎045-401-2445(自), 03-271-4055(勤)

(佐島)

大河原孫一 〒114 東京都北区王子2-15  
☎03-911-2334(自)

(小網代)

船越康男 〒164 東京都中野区上高田1-1-38  
武蔵ハイム102  
☎03-362-5464(自), 03-233-2844(勤)

(シーボニア)

平野喜美夫 〒248 鎌倉市笛田1152-21  
☎0467-31-1956(自),  
03-404-3311内2771(勤)

(油壺)

並木茂士 〒221 横浜市神奈川区白楽39  
☎045-432-0356(自), 045-432-3927(勤)

(諸磯)

川久保史郎 〒182 東京都小平市小川町1-823  
☎0423-41-3290(自)

(横浜)

藤森紀明 〒236 横浜市金沢区町屋町21-7  
☎045-781-8228(自)

(下田)

伊藤秀利 〒415 静岡県下田市2-6-3  
下田ボートサービス  
☎05582-2-6922(自), 05582-2-5511(勤)

## 新登録艇の紹介

セール番号, 艇名, 帆装, フリート, 全長×  
水線長×巾×吃水, オーナー名, その他の順  
☆印は会友艇

1604 KAZACOMACHI ノーリン34 淡輪 Y・H  
10.2×9.2×3.38 佐野康夫, 井尾典雄, 稲葉光美,  
伊丹芳則, 榎本彰, 四ヶ所雄宏, 次田周一, 中西伸夫,  
柳本茂一, 結城健夫, 徳本佳子(共同) / 艇名の由来  
: ナシ / 抱負: ナシ

3284 VANGUARO VD 大橋36 博多 10.8×8.6  
×3.6×2.2 末松明, 川添龍男(共同)

3197 ヒリュウ6 FS-30 柳ヶ崎(琵琶湖) 9.6  
×7.50×3.38×1.80 前田信義, 今村孝司, 正木勝彦,  
藤井忠, 萬木寛次(共同) / 艇名の由来: 悲運の末路  
をたどった旧日本海軍の飛龍がいき, ここ琵琶湖に  
雄々しく再現される, という大きな意味を持って, そ  
の期待に十分こたえながら湖上を滑っています。(飛  
龍六世)は。 / 抱負: 平均年齢37歳, この大きなハン  
ディを乗り越えるために走る艇を追い求めています。  
あとは年齢からくるテクニックをフルに活用して常勝  
チームになること。なれる, なれるかな, なれるだろ

う, たぶんなれる。 / クルー: 中田寛, 宮脇十代生 /  
NORC への要望: 別の船で以前からレースなどには  
できるだけ参加させていただいてありますが, 参加グ  
ループが一向に増えそうにないので, 何か適切な手を  
打っていただいて, 一艇でも多くに出てもらって, 楽  
しみを増やしたいと思います。我が艇より後を走る艇  
とは限定しません。ウチより早い艇もどんだん。

82 おのころ丸 スループ 的形ヨットハーバー  
12.3×9.2×3.7×2.2 神村正弘, 島津洋三ほか4名  
(共同) / 艇名の由来: 日本古代神話より / 抱負: 乗  
組員全員, 的形族純血種で統一。20年前のI世のセー  
ルナンバーを再登録して使用。レースに30%, クルー  
ジングに30%, 艇内宴会に30%, ヨットライフを楽し  
む予定。 / クルー: 有名人なし。

OFFSHORE 第110号 昭和59年5月15日発行  
毎月1回15日発行  
昭和52年7月21日 第三種郵便物認可  
1部定価300円(郵送料45円)

発行 社団法人 日本外洋帆走協会  
東京都港区虎ノ門1-15-16(船舶振興ビル4階)  
電話・東京03(504)1911-3 〒105  
郵便振替番号2-21787

印刷 正進社印刷株式会社

海の安全—みんなが安心—  
高級艇は—それだけ—  
天然素材から選ばれる



# グレートが帆走を始めた。

## 誕生、クォーターナー最上級艇。ヤマハ26C EX

最高の居住空間をもつクォーターナーを。

このコンセプトのもと、ヤマハ26Cをベースに完成した  
ヤマハ26C EX。フォクスル、メインキャビンをはじめ、

トイレルームまで独立空間としたゆとりの設計を施しました。

内装にはFRPトリム、デッキライナーを使用し、

数ランク上のインテリアを実現しています。

スレンダーな艇体には、優れた帆走性・操作性を凝縮。

イージーセイリングからハードセイリングまで、

幅のある帆走が楽しめます。

クォーターナー最上級艇として、いまヤマハから。



- 全長/7.98(m) ● 水線長/6.40(m)
- 全幅/2.80(m) ● 吃水/1.55(m)
- 船体重量/2,045(kg) ● 完成重量/2,150(kg)
- バラスト重量/650(kg) ● 全セイル面積/27.0(m<sup>2</sup>)
- バース数/5(名分) ● 呼称最大馬力/7.5(ps)
- 連続最大馬力/6.5(ps) ● 燃料タンク容量/25(ℓ)
- 清水タンク容量/70(ℓ) ● 航行区域/沿海

新 発 売 / **YAMAHA-26C EX**